

湖国の感動 未来へつなぐ

第79回国民スポーツ大会



わたSHIGA輝く国スポーツ

2025

カヌー競技会

スラローム/ワイルドウォーター
開催日 2025年10月3日(金)~10月6日(月)
会場 濑田川特設カヌー競技場
主催 公益財団法人日本スポーツ協会
文部科学省 滋賀県
公益社団法人日本カヌー連盟
大津市



国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストレーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャッフィー

どんぐさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャッフィー

「キャッフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャッフィー」に教えてもらっています。

「キャッフィー」と「チャッフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目 次

あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤 利明	4
文部科学大臣 あべ 俊子	5
公益社団法人日本カヌー連盟 会長 大野 正次	6

歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長 滋賀県知事 三日月 大造	7
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会会長 大津市長 佐藤 健司	8
滋賀県カヌー協会 会長 小椋 正清	9
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	10
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	11
大会役員	12
競技会役員	16
競技役員	18
競技補助員・競技会係員・競技会補助員・その他協力機関・団体	20
総則	21
実施要項	40
種目別表彰式次第	46
競技日程	47
参加人員一覧表 選手・監督名簿	48
カヌースラロームスタートリスト	50
カヌーワイルドウォータースタートリスト	59
カヌー競技の見方	64
総合成績決定方法	66
総合成績一覧表	67
過去の種目別成績一覧表(栄光の軌跡)	72
競技会場案内図	79
関係機関連絡先一覧	81

敷 地 内 全 面 禁 煙

ただし、望まない受動喫煙防止のため喫煙所を設置しています。

喫煙される方は、指定された喫煙所をご利用ください。

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会

あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会

会長 遠藤 利明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元氣にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年から「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あ い さ つ

文 部 科 学 大 臣

あ べ 俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

令和7年7月31日



あいさつ

公益社団法人 日本カヌー連盟
会長 大野正次

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ カヌー競技会」が、滋賀県東近江市並びに大津市を会場に開催されることは、誠に喜ばしいことであります。

カヌースプリント競技の会場地である伊庭内湖特設カヌー競技場がある東近江市は、鈴鹿山脈を源とする清流が琵琶湖へと注ぎ込み豊饒な田園風景を形成する、滋賀の自然を象徴する地であります。

また、カヌースラローム・ワイルドウォーター競技の会場地である瀬田川特設カヌー競技場がある大津市は、世界遺産や文化財や史跡、名勝が数多く点在する 1350 年以上の歴史を誇る古都であります。

こうした環境に恵まれた素晴らしい会場を舞台に、第 79 回国民スポーツ大会カヌー競技会が行われることは、我が国におけるカヌースポーツの発展と普及に極めて大きな役割を果たすものと確信いたします。

全国から郷土の代表として参加された選手の皆さんには「湖国の感動 未来につなぐ」のスローガンにふさわしく、日頃鍛錬された力と技を存分に発揮し、熱戦を全国に広めていただくことはもとより、地元の方々と交流を深められ、「わた SHIGA 輝く国スポ」が「人と人との絆」を大切にした新たな出会いの場となり、活力に満ちたふるさとづくりに寄与する大会の実現となることを切望いたします。

末筆ではございますが、本競技会の開催にあたり、ご指導、ご支援、ご協力賜りました公益財団法人日本スポーツ協会、スポーツ庁、滋賀県、東近江市、大津市、滋賀県カヌー協会をはじめ多くの関係機関・団体に感謝の意を表し、加えて本大会の成功を祈念し、あいさつといたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三日月 大造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できることは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にしていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わたS H I G A 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会会長

大津市長 佐藤 健司

わたS H I G A 輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会 カヌー競技会（スラローム・ワイルドウォーター）」が、大津市にて盛大に開催できることを大変嬉しく思います。全国各地より参加される選手・監督、大会関係者の皆様をはじめ、大津市にお越しいただく方々を、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

わたS H I G A 輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会」は、昭和56年の「びわこ国体」以来、44年ぶりに滋賀県での開催となります。大津市では、選手の皆様が最大のパフォーマンスを発揮できるように会場の準備を整えるとともに、応援のぼり旗などの会場装飾づくりや地元食材を盛り込んだ「OTSU国スポこだわり弁当」の献立づくり、市内にちりばめられた歓迎装飾など大津市民をあげたおもてなしでお迎えできるように取り組んでまいりました。

また、各会場では、ボランティアによる大津の銘菓などのふるまいのほか、特に子どもたちが様々なスポーツに興味を持つてもらえるように、選手の皆様の競技を観戦することに加え、競技体験などの企画も準備いたしました。スポーツの素晴らしさを体現・体感し、皆様の記憶に残るような大会となりますことを、心より願っております。

さて、琵琶湖の恵みと比良・比叡の山々の緑に囲まれた大津市は、紫式部ゆかりの地である石山寺や三井寺、世界遺産比叡山延暦寺などの自然と歴史が調和した、豊かな文化が息づく地域です。今年は琵琶湖疏水施設が国宝・重要文化財に、坂本城跡が国史跡にそれぞれ指定されるなど、改めてその魅力が注目されています。また、近江牛や文化庁の「100年フード」の認定を受けた大津のうなぎなどの滋賀県・大津市の特産品や郷土料理に加え、琵琶湖でのクルーズなどのアクティビティもお楽しみください。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘を祈念申し上げまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



滋賀県カヌー協会

会長 小椋 正清

このたび、滋賀県大津市・瀬田川特設カヌー競技場において「わたSHIGA輝く国スポーツカヌー競技会（スラローム・ワイルドウォーター）」を開催できることは、誠に喜ばしく、監督、選手、役員をはじめ全国各地よりご参加くださいます皆様を心から歓迎申し上げます。

会場となる瀬田川は、日本最大の湖“琵琶湖”から流れ出る唯一の河川です。水量が豊富で水深が深いため渦や湧き上がりなど特徴的な流れを有する急流であり、古くからカヌースポーツの重要な拠点として多くの選手に親しまれてきました。我が国のカヌースラローム・ワイルドウォーター競技の創成期である1970年代後半から継続的に競技会が開催され、1981年にはびわこ国体カヌー競技、近年は国スポーツ近畿ブロック大会の会場として利用されています。

昨年のリハーサル大会では、選手の皆様の熱戦により大いに大会を盛り上げていただきましたが、併せて競技運営に関し当会場の特性を踏まえた改善点なども確認させていただきました。今回はその成果を生かしより円滑で充実した競技運営ができるよう準備を進めてまいりました。

選手の皆様が日頃の鍛錬の成果を存分に発揮され白熱した競技を繰り広げられることを期待いたしますとともに、この大会がカヌー競技の更なる発展と地域のスポーツ文化の振興につながることを願っております。

また当会場の所在する大石学区は、忠臣蔵で名高い大石内蔵助の祖先の出身地です。会場の南に天智天皇の勅願により創建された佐久奈度神社があり大石内蔵助曾祖父が寄進した絵馬が残っています。近くには弘法大師が開山した立木観音（立木山安養寺）、少し足を延ばせば、紫式部ゆかりの石山寺などもありますので、ぜひこうした地域の歴史にも触れていただければ幸いです。

結びに本大会の開催にあたり、多大なるご支援を賜りました公益社団法人日本カヌー連盟、わたSHIGA輝く国スポーツ・障スポーツ大津市実行委員会、地元大石学区をはじめ関係機関・団体の皆様に心より感謝申し上げ、歓迎の言葉といたします。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定
昭和45年1月22日一部改定
昭和48年7月10日一部改定
昭和54年5月9日一部改定
平成17年6月16日一部改定
平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定
令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

大 会 役 員

2025年7月31日現在

(順不同・敬称略)

名 誉 会 長	あ べ 俊 子			
会 長	遠 藤 利 明			
副 会 長	益 子 直 美	田 中 不 二 夫	三 宮 恵 利 子	森 岡 裕 策
	室 伏 広 治	三 日 月 大 造	河 本 英 典	
顧 問	伊 藤 雅 俊	森 喜 朗	橋 本 聖 子	安 西 孝 之
	岡 崎 助 一	越 川 均	坂 元 要	勝 田 隆
	室 伏 由 佳	村 松 さ や か	湯 川 和 之	植 田 実
	櫻 井 由 香	鹿 島 丈 博	吉 岡 成 子	石 井 砂 織
	笠 師 久 美 子	飯 塚 悟	久 保 正 美	浦 美 奈 子
	木 平 芳 定	中 嶋 実	小 寺 洋	桐 木 陽 子
	旗 生 康 之	池 田 め ぐ み	工 藤 保 子	久 保 直 生
	藤 田 裕 司	藤 原 誠	室 城 信 之	金 子 日 出 澄
	貝 瀬 智 洋	森 晃	土 橋 登 志 久	石 丸 元 国
	多 氣 洋 平	井 崎 洋 志	鬼 頭 有 紀 子	長 谷 川 洋 子
	吉 田 長 寿	齋 木 尚 子	多 賀 恒 雄	安 藤 淳
	上 治 丈 太 郎	湧 永 寛 仁	上 原 絵 美	佐 藤 健 司
	馬 場 美 香	山 口 宏	南 和 文	宮 永 美 寿 津
	千 田 健 一	中 里 壮 也	岡 本 友 章	大 野 淳
	加 藤 出	田 村 恒 彦	蒔 田 実	山 崎 勝 洋
	浅 見 敬 子	山 口 徹 正	田 中 伸 周	村 田 利 衛
	建 部 彰 弘	市 野 保 己	丸 石 博	中 村 ゆ 里 子
	齋 藤 良 太 郎	谷 田 部 和 彦	木 村 博 美	井 上 弘
	今 川 啓 一	近 藤 重 和	池 谷 正 成	大 澤 明 美
	古 城 資 久	小 野 賢 二	園 山 和 夫	中 山 俊 行
	田 中 徹	知 念 か お る	出 口 弘 之	田 邊 哲 人
	城 門 政 文	前 川 恵	上 杉 晃 央	布 村 幸 彦
	茂 野 直 久	生 島 典 明	大 沢 陽 子	谷 藤 節 雄
	熊 谷 幸 一	千 葉 玲 佳	奥 山 雅 信	酒 井 祐 一
	藤 田 知 巳	北 條 俊 明	田 子 昌 之	新 井 彰
	山 崎 成 夫	塩 見 清 仁	田 名 部 高 雄	井 出 仁
	今 西 博 一	中 村 宏 平	松 本 智 広	森 山 喜 博
	南 部 則 雄	福 永 秀 樹	高 橋 繁 浩	山 本 健 次
	増 田 和 伯	猪 飼 敏 之	山 本 誠 三	松 本 恭 幸

船田 一彦	奥田 晃	横尾 英治	小西 慎太郎
近藤 一幸	堂本 ひさ美	河村 祐一	渡邊 浩三
田中 稔	馬越 祐希	青木 章泰	城戸 英敏
藤本 武	小柳 勝彦	辛木 秀子	宮成 康蔵
藤本 格	岩元 幸成	平良 朝治	藤原 正樹
大河原 嘉朗	川上 隆弘	佐藤 廣子	奈良 隆
小菅 司	宇津木 妙子	菊 幸一	小林 久美
寺澤 正孝	山口 純子	武部 新	野 中厚
金城 泰邦	赤松 健	増子 宏	矢野 和彦
茂里 肇	浅野 敦行	有村 治子	上野 賢一郎
大岡 敏孝	嘉田 由紀子	北野 裕子	小寺 裕雄
こやり 隆史	斎藤 アレックス	武村 展英	宮本 和宏
目片 信悟	村井 泰彦	北村 嘉英	小椋 正清
伊藤 定勉	草野 聖地	杉浦 和人	永浜 明子
有森 裕子	鈴木 大地	宮本 恒靖	深澤 祐二
坂田 東一	三須 和泰	仲間 達也	川合 俊一
藤田 直志	三屋 裕子	富山 英明	馬場 益弘
砂岡 良治	金丸 恭文	安道 光二	河田 正也
豊田 章男	千 玄 室	中村 真一	牧島 かれん
村井 満	永谷 喜一郎	真砂 威	土田 雅人
町田 幸男	大野 正次	世耕 弘成	笹川 善弘
番匠 幸一郎	久保 素子	丹羽 秀樹	岩城 光英
寶 馨	荒川 裕生	小谷 知也	達増 拓也
鶴田 有司	吉村 美栄子	北村 清士	大井川 和彦
福田 富一	遠藤 祐司	大野 元裕	熊谷 俊人
山本 博	岡田 伸浩	花角 英世	新田 八朗
馳 浩	杉本 達治	高野 剛	阿部 守一
田口 義隆	中谷 多加二	大村 秀章	伊藤 歳恭
西脇 隆俊	高橋 知史	齋藤 元彦	池田 誠也
宮崎 泉	林 昭男	丸山 達也	越宗 孝昌
苅田 知英	村岡 嗣政	後藤田 正純	槙田 實
大塚 岩男	服部 誠太郎	山口 祥義	大石 賢吾
甲斐 隆博	麻生 益直	日隈 俊郎	塙田 康一
玉城 デニ一			

参

与

糸井 圭子
井狩 辰也

大杉 住子
今江 政彦

赤井 康彦
岩崎 和也

有村 國俊
小河 文人

小川 泰江	奥村 芳正	海東 英和	加藤 誠一
河井 昭成	川島 隆二	河村 浩史	桐田 真人
九里 学	桑野 仁	駒井 千代	佐口 佳恵
重田 剛	柴田 栄一	柴田 清行	清水 鉄次
清水 ひとみ	白井 幸則	周防 清二	菅沼 利紀
田中 英樹	田中 誠	田中 松太郎	谷 成 隆
谷口 典隆	富波 義明	中川 雅史	中沢 啓子
中山 和行	野田 武宏	節木 三千代	本田 秀樹
村上 元庸	木沢 成人	森重 重則	東 勝
岸本 織江	土井 真一	窪田 知子	野村 早苗
塚本 晃弘	森 和之	園田 三恵	松田 千春
東郷 寛彦	中村 守	中村 達也	山田 忠利
奥山 光一	岡田 晓人	中田 佳恵	伊吹 信人
白井 稔	藤原 久美子	正木 隆義	保田 誠
小林 雅史	池内 久晃	原 陽一	北川 純二
佐藤 健司	田島 一成	浅見 宣義	小西 理
橋川 渉	森中 高史	竹村 健	岩永 裕貴
櫻本 直樹	松浦 加代子	今城 克啓	角田 航也
堀江 和博	西田 秀治	有村 国知	寺本 純二
久保 久良	藤田 善久	甲津 和寿	堤 清司
高橋 祥二郎	市田 良夫	藤堂 寛	野村 昌弘
熊倉 正志	涌井 努	岸 智昭	武田 英明
山本 博一	寺村 義伸	金澤 博文	山本 順
杉原 真也	竹林 幸祥	山田 貴司	上西 保
一圓 泰成	石井 太	川戸 良幸	田畑 太郎
高橋 健太郎	草野 とし子	三木 恒治	市川 忠穂
上村 照代	富長 弘宣	佐野 智哉	太田 千恵子
赤井 弘和	大西 孝雄	崎山 美智子	
委員長	山本 浩		
副委員長	岩田 史昭	田中 秀和	辻 瞳 弘
総務委員	松永 敬子	稻垣 公雄	笠野 英弘
	菅原 哲朗	田崎 博道	松田 基子
	山澤 文裕	吉田 崇	出崎 和夫
	熊谷 利彦	佐橋 誠	田内 慎也
	江橋 千晴	加藤 弘和	小澤 大樹
	青木 克憲	安井 和治	西島 義典

委 員	平 野 了	高 橋 聖 一	吉 村 政 弘	若 月 等
	松 本 康 夫	福 土 幸 洋	栗 原 崇	細 野 光 史
	渡 邁 圭 太 郎	佐 久 間 裕 司	品 田 奥 義	濱 野 勉
	寺 澤 淳	黒 川 重 男	舟 喜 信 生	高 野 修
	中 梶 秀 則	安 藤 正 美	加 藤 憲 二	宮 川 良 輔
	鈴 木 章 広	川 口 巍	和 田 潔	岡 泉 茂
	田 口 大 祐	平 井 宏 治	岸 川 剛 之	西 原 斗 司 男
	菅 原 正 幸	高 橋 昇	長 南 哲 生	衛 藤 敬 輔
	渡 辺 久 雄	三 井 千 壽	鈴 木 信 吾	山 中 博 史
	井 本 亘	関 根 明 子	中 山 二 三 男	越 前 浩 司
	吉 田 由 美 子	杉 本 好 二	東 野 真 理 子	川 口 雅 三
	金 子 和 裕	野 口 友 里	品 治 恵 子	富 澤 佑 也
	政 岡 航 大	坊 百 花	小 河 原 百 映	田 口 雅 紀
	寺 垣 佑 介	田 中 遥 大	宇 高 章 広	近 藤 潤
	南 野 芳 広	池 本 佳 子	横 江 弘 昭	沼 波 輝
	門 久 仁 裕	清 水 直 子	高 井 和 紀	見 田 茂 紀
	加 藤 雄 樹	鈴 木 敦	瀬 谷 尚 男	大 貫 大 輔
	太 田 真 美	高 野 正 規	岩 楚 直 史	深 谷 祐 紀
	金 田 貴 人	新 保 賀	戒 田 由 香 里	児 玉 晶 香
	村 松 達 也	井 澤 克 行	林 剛 史	稻 葉 晴 伸
	杉 浦 美 紀	藤 田 隆 司	曾 我 学	木 原 哲 也
	高 橋 健 二	吉 村 宗 浩	中 嶋 純 也	前 田 康 博
	松 本 守 正	松 本 綾 子	田 口 新 也	河 口 英 史
	久 次 米 和 成	高 田 孝 行	辻 岡 英 幸	前 田 義 朗
	笠 井 康 行	尾 鶯 一 成	松 山 度 良	濱 本 昌 宏
	吉 野 賢 一 郎	横 山 美 和	山 元 尚 史	宮 城 直 人
	高 野 瑞 洋	遠 藤 信 哉	千 葉 雅 也	菅 間 裕 晃
	須 藤 勇 司	角 田 真 司	柄 澤 宏 之	竹 内 延 和
	東 瀬 義 人	酒 井 雅 洋	碓 井 稔	武 田 知 已
	井 上 哲	今 後 元 彦	沼 田 守 弘	田 部 長 右 衛 門
	竹 内 俊 勝	松 井 守	吉 岡 直 彦	刈 谷 好 孝
	寺 崎 雅 已	荒 木 健 治	平 江 公 一	黒 木 淳 一 郎
	渡 嘉 敷 通 之	綾 部 吉 也		

競技会役員

2025年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名 誉 会 長	佐 藤 健 司	小 野 清 司	小 棕 正 清	伊 藤 義 樹
会 長	大 野 正 次	辰 野 勇	矢 田 節 彦	山 口 徹 正
副 会 長	羽 根 田 卓 也	村 田 和 哉	古 谷 利 彦	橋 本 聖 子
顧 問	藤 田 二 郎	田 屋 巧	高 橋 啓	増 田 弘 毅
	春 園 長 公	遊 佐 久 男	設 楽 詠 美 子	平 林 哲 雄
	木 村 次 郎	古 川 俊 治	密 本 成 章	河 合 一 寛
	菅 野 大 志	塚 田 一 郎	熊 谷 元 尋	野 上 浩 太 郎
	橋 爪 洋 介	前 田 博 司	天 野 一	塚 本 直 樹
	堀 内 詔 子	河 合 伸 泰	荒 卷 隆 三	原 田 直 己
	森 喜 朗	岡 田 龍 樹	鈴 木 太 雄	藤 井 一 博
	中 瀬 古 初 美	千 田 博 通	今 津 俊 昭	新 谷 和 彦
	福 元 晶 三	橋 本 浩 志	真 鍋 幸 一	楠 瀬 耕 作
	福 井 竜 夫	留 守 茂 幸	中 山 功	松 村 祥 史
	近 藤 敏 弘	中 馬 光 久	中 村 周 二	下 地 幹 郎
	相 良 直 文	島 崎 輝 久		
	衛 藤 晟 一			
	草 野 聖 地			
参 与	細 川 俊 行	細 川 力 男	葉 月 陽	浜 奥 修 利
	乘 野 靖 七	青 山 三 四 郎	井 元 潔	奥 村 功
	改 田 勝 彦	笠 谷 洋 佑	嘉 田 修 平	川 口 正 德
	草 川 肇	幸 光 正 嗣	小 島 義 雄	佐 藤 弘
	杉 浦 智 子	竹 内 照 夫	竹 内 基 二	田 中 知 久
	田 中 康 博	谷 祐 治	出 町 明 美	寺 田 英 幸
	寺 谷 吉 寛	中 川 哲 也	中 田 一 子	八 田 憲 児
	林 ま り	原 田 優 太	伴 孝 昭	日 隅 慈
	福 永 英 晶	船 本 力	森 川 えり な	森 脇 謙 一
	田 村 靖 二	周 防 美 智 子	大 西 祐 司	関 理 子
	國 松 瞳 生	北 潤 弘 康	初 田 久 德	内 川 直 樹
	内 田 一 成	川 島 英 和	小 野 昌 幸	中 村 由 紀 子
	菊 池 真 宏	岡 嶴 一 郎	宿 谷 繁 生	三 國 昌 克
	小 島 浩 幸	南 堀 弘	清 水 美 幸	弓 坂 則 行
	高 野 早 人	團 初 太 郎	目 片 清	安 西 将 也

中山 敦生	野々口 義信	北 村 茂	河 本 英 典
津田 新三	松尾 房 郎	井上 欣也	前 田 康 一
荒 谷 善 夫	奥 村 芳 正	宇 野 正 信	神 野 佳 樹
渡 辺 一 生	藤 原 健 二	二 宮 康 人	こ や り 隆 史
田 濃 良 和	石 井 智	久 保 洋 司	西 田 元
米 田 博 文	岸 智 昭	田 矢 隆 一	人 見 和 宏
杉 原 真 也	田 畑 太 郎	大 森 聖 一	八 木 正 樹
大 西 延 明	北 川 有 紀	田 中 勉	金 子 博 美
前 川 賢 慈	木 村 隆	小 寺 裕 雄	野 口 佐 登 司
野 口 享	小 林 徹		
委 員 長	坂 東 美 紀		
副 委 員 長	大 塩 黙	越 後 啓 二 良	
委 員	木 村 文 浩	小 山 泰 弘	河 本 彩 子
	関 根 智 美	石 井 砂 織	大 城 良 介
	田 淵 慎 吾	田 村 一 樹	西 明 美
	吉 田 百 合 子	大 井 健 司	桂 田 恵 子
	高 橋 克 也	山 野 内 美 智 子	橋 爪 雄 彦
	饗 場 忠 佳	野 崎 信 宏	坂 井 田 稔
	山 岡 剛	辻 和 美	福 島 森
	山 脇 秀 鍊	津 田 千 秋	白 崎 航
	打 谷 桂 子		吉 田 聰

競技役員

2025年7月31日現在

(順不同・敬称略)

競技会会長	大野 正次				
審議委員会委員長	山口 徹正				
審議委員会委員	村田 和哉	木村 隆			
競技委員会委員長	田中 秀幸				
競技委員会副委員長	山川 裕右				
競技委員会委員	神田 高之	野崎 信宏	福島 森		
総務部長	小澤 研				
総務部員	柳澤 恵子	森田 純至	野崎 信宏	宮尾 秀穂	
	児玉 浩美	津田 千秋	野崎 光子	白崎 航	
	山本 新				
調査抗議受付	橋本 充				
調査抗議受付補助	遠藤 小百合	福興 健一郎	大西 博文	流郷 成之助	
	福島 森				
放送主任	中村 美穂子				
放送員	三馬 正敏	山川 理佳子			
審判部長	笛本 弘子				
ビデオジャッジ	竹中 淳	真島 祐二			
TVSコーディネーター	高橋 強				
TVSカメラ操作員	鹿島 一侑紀	原田 橙吾	瀬川 大翔	小暮 望夢	
	秋山 透真	田中 風花	片岡 陽太		
TVS映像スイッチャー	中野 晴華	木村 紗渚	田中 陽菜乃		
TVS映像REC操作員	渡邊 真帆	高宮 凜	猿渡 元輝		
大型スクリーン映像スイッチャー	谷藤 孝太				
発艇主任	大森 映司				
発艇員	林 清美	赤尾 順子	藤山 優貴	安井 利都子	
	加藤 千明	坂尾 将幸			
区間審判員(T/J)	窪田 幸泰	西山 美樹	加藤 利枝	藤本 学	
	市川 浩良				
区間審判員補助員(T/J補助員)	高杉 昌汰	大石 陽菜	出口 千尋	鈴木 奈津子	
	大原 千明				
ゲート審判員	尾崎 健二	寺沢 政弘	不破 洋史	犬童 智人	

	引 本 孝 之	福 岡 ユ カ	森 富 寿	日 浦 輝 男
	江 草 大 樹	宮 井 章		
決 勝 審 判 長	前 田 史 子			
決 勝 審 判 員	人 見 幸 恵	末 永 理 奈	森 岡 幸 雄	森 岡 真 弓
集 計 主 任	加 藤 聰			
集 計 副 任	白 崎 航			
集 計 員、記録 員	山 本 新	北 村 庸 子	森 近 莉 芙	井 上 ま り な
計 時 員(中間ラップ)	酒 井 愛 子			
検 定 主 任	吉 村 卓 治			
検 定 員	中 村 忠 弘	小 泉 春 洋	久 保 英 男	眞 貝 亨
	宮 雅 行			
安 全 主 任	豎 村 浩 一			
安全員(乗艇)	今 井 健	高 安 正 美	梁 井 富 夫	沼 田 忠 翳
	結 城 崇 仁	安 藤 蓮 起	佐 々 木 優	田 中 羽 音
技 術 部 長	加 藤 彰 則			
コースデザイナー(主)	三 馬 正 敏			
コースデザイナー(副)	福 島 森			
技術部員(コース管理)	渡 部 洋 人	東 野 凌 大	鋤 柄 栄 太	胡 内 章
	杉 本 好 崇	三 上 博 文	西 川 樹	石 田 勝 広
	安 藤 蓼 起			
デ モ ン スト レ タ ー	佐 々 木 優	奥 田 花	近 藤 恭 輔	山 川 理 佳 子
	田 中 羽 音			
総 合 成 績 計 算 委 員 長	石 井 砂 織			
総 合 成 級 計 算 委 員	白 崎 航			

競技補助員

2025年7月31日現在

(順不同)

滋賀県立大津高等学校 滋賀県立瀬田工業高等学校 大津市立大石小学校

競技会係員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実施本部職員一同

競技会補助員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市ボランティア一同

その他協力機関・団体

陸上自衛隊 第3施設大隊

大会実施要項

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技 (37 競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローリング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技 (7 競技)

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ (26 競技)

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウェルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカロム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレー ボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

(4) 特別競技 (1 競技)

高等学校野球

2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技 (15市、4町：計19市町)

会期	会場地
2025年9月28日（日） ～10月8日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年9月6日（土） ～9月15日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年9月21日（日） ～9月25日（木） 〔5日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技 (7市：計7市町)

会期	会場地
2025年8月23日（土） ～9月21日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストレーションスポーツ (13市、1町：計14市町)

会期	会場地
2025年4月12日（土） ～9月14日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025年1月1日から2025年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

〔注〕 上記(ウ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

〔注〕 a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

〔注〕 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚または離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
〔注〕 aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帶同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

〔注〕 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していかなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注] 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

- (1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別および各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込むものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締切日	競技
2025年 8月20日(水) 【12競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025年 9月4日(木) 【27競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（観察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区分	負担金
少年の種別に参加する選手	3,000円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6,000円

[注] 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025年9月5日(金)

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上 の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満 の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満 の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。
なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 観察員

- (1) 観察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および島根県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の観察員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード (Accreditation Card) を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関する取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いについて以下のとおり対応するものとする。

（1）個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

（2）肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

(2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

(3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は1人1競技に限る。

(4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

(5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

(6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

(7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、観察員ならびにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

(3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ

通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

(1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

(2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

(3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

(1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に問わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手でJOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手でJOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2) - ②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1) - ③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1) - ③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容がJOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-(3)（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

（ア） 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

（イ） 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について

は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていないとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

＜例＞ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度(小学校は2015年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていないとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)～(3)（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

（ア） 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

（イ） 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていないとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して

いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

＜例＞ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度(小学校は2028年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

実施要項

1 期 日 2025年10月3日（金）から10月6日（月）まで（4日間）

種 目	10月3日（金）	10月4日（土）	10月5日（日）	10月6日（月）
カヌースプリント	予 選（A）	準 決 勝（A） 決 勝（A）	予 選（B） 準 決 勝（B）	決 勝（B）
カヌースラローム		決 勝（A）	決 勝（B）	
カヌーワイルドウォーター	決 勝（A）			決 勝（B）

（注）天候・気象の状況により、日程を変更することがある。

2 会 場 東近江市（カヌースプリント） 伊庭内湖特設カヌー競技場
大津市（カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター）瀬田川特設カヌー競技場

3 種別（種目）及び参加人員

種 別	種 目	監 督	選 手	参 加 都道府県	小計 (人)	合計 (人)	
ス プリ ント	成年男子	1	K-1（カヤックシングル）	1	24	323	
			C-1（カナディアンシングル）	1	24		
	成年女子		K-1（カヤックシングル）	1	19		
			C-1（カナディアンシングル）	1	10		
	少年男子		K-1（カヤックシングル）	1	29		
			K-2（カヤックペア）	2	12		
			C-1（カナディアンシングル）	1	26		
			C-2（カナディアンペア）	2	12		
	少年女子		K-1（カヤックシングル）	1	24	453	
			K-2（カヤックペア）	2	12		
			K-4（カヤックフォア）	4	12		
ス ワ イ ル ド ウ オ ー タ ム	成年男子	1	K-1（スラロームカヤックシングル）	1	24	130	
			C-1（スラロームカナディアンシングル）	1	10		
			K-1（ワイルドウォーターカヤックシングル）	1	10		
	成年女子		K-1（スラロームカヤックシングル）	1	19		
			C-1（スラロームカナディアンシングル）	1	10		
			K-1（ワイルドウォーターカヤックシングル）	1	10		

※ カヌースプリント、カヌースラローム・カヌーワイルドウォーターにおける各都道府県の
ブロック大会通過種目による監督数の変動に伴い、小計・合計数も変更となる。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 競技規則及び競技運営は、公益社団法人日本カヌー連盟競技規則及び国民スポーツ大会特別規則による。各種目のコースは、規則に基づき、公益社団法人日本カヌー連盟（以下、「連盟」という。）の公認したものとする。
- (2) 各種目とも次のとおり実施する。

ア カヌースプリント	(A) 500m	(B) 200m
イ カヌースラローム	(A) 25ゲート	(B) 15ゲート
ウ カヌーワイルドウォーター	(A) 1,500m	(B) スプリント
- (3) カヌースプリント
発艇は、連盟が公認した自動発艇装置を用い、決勝判定は、連盟が公認した写真判定システムによる。
- (4) カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター
 - ア カヌースラロームコースは、150m以上400m以内で、漕行可能な急流とする。
 - イ カヌーワイルドウォーターコースは、漕行可能な急流とし、約1,500mとする。
ただし、スプリント種目は、カヌースラロームコースを使用する。
 - ウ カヌースラローム、カヌーワイルドウォーターの発艇線及びフィニッシュラインには、連盟が公認した電子判定システム（光電管・ビデオシステム等）を用いる。
- (5) 日程は、天候・気象の状況により、変更することがある。

5 予選方法

- (1) 各都道府県協会は、都道府県大会を実施し、ブロック大会に出場する各種目の代表選手を決定する。
- (2) ブロック大会主管都道府県協会は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に出場する代表都道府県を決定する。
- (3) ブロック大会にて本大会への参加枠を獲得した都道府県は、ブロック大会で参加枠を獲得した選手に代えて、都道府県予選会の同一種別に参加した選手をもって、当競技種目に参加させることができる。
- (4) ブロック大会は、全てA種目のみ実施し、代表を決定する。
カヌースプリント (500m)
カヌースラローム (25ゲート)
カヌーワイルドウォーター (1,500m)

(5) ブロック大会区分及び代表の種目数は、下記のとおりとする。

種別	種目	ブロックごとの本大会出場数割当										合計	
		北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催県		
スプリント	成年男子	K-1 (カヤックシングル)	1	3	4	2	2	3	2	2	4	1	24
		C-1 (カナディアンシングル)	1	3	4	2	2	3	2	2	4	1	24
	成年女子	K-1 (カヤックシングル)	1	2	3	2	2	2	1	3	1	19	
		C-1 (カナディアンシングル)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	
	少年男子	K-1 (カヤックシングル)	1	4	5	3	2	3	3	2	5	1	29
		K-2 (カヤックペア)	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	12
		C-1 (カナディアンシングル)	1	3	4	3	2	3	3	2	4	1	26
		C-2 (カナディアンペア)	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	12
	少年女子	K-1 (カヤックシングル)	1	3	4	2	2	3	2	2	4	1	24
		K-2 (カヤックペア)	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	12
		K-4 (カヤックフォア)	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	12
スワイルドウォータム	成年男子	K-1 (スラロームカヤックシングル)	1	3	4	2	2	2	3	2	4	1	24
		C-1 (スラロームカナディアンシングル)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		K-1 (ワイルドウォーターカヤックシングル)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	成年女子	K-1 (スラロームカヤックシングル)	1	2	3	2	2	2	2	1	3	1	19
		C-1 (スラロームカナディアンシングル)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		K-1 (ワイルドウォーターカヤックシングル)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 連盟賛助会員A登録者であること。
- (2) 出場は1人1種目とし、各種目A・Bに出場することができる。
- (3) カヌースプリント種目の少年種別に参加できる選手は、2010年4月2日から2011年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。
また、成年女子種別カナディアンシングル種目に参加できる選手は、中学3年生を含む2011年4月1日以前に生まれたものとする。
- (4) カヌースラローム種目（成年男子種別、成年女子種別）及びカヌーワイルドウォーター種目（成年男子種別、成年女子種別）に参加できる選手は、中学3年生を含む2011年4月1日以前に生まれたものとする。
- (5) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認カヌーコーチ1、公認カヌーコーチ2、又は公認カヌーコーチ3、公認カヌーコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。
- (6) 成年選手は監督を兼任することができる。カヌースプリント種目とカヌースラローム種目・カヌーワイルドウォーター種目の監督を兼任することはできない。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子	成年女子	シングル及びペアの各種目は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点の競技得点を与える。
成年女子	成年女子	フォアの各種目は、1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。
少年男子	少年女子	ただし、同順位の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。
少年女子		なお得点は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種目の第1位から第8位までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025年8月20日（水）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手・監督の変更は、疾病、傷害等の特別な場合のみ認めるものとし、その取り扱いについては次のとおりとする。
ア 提出期日 監督会議開催前までとする。
イ 提出先
(ア) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 5F 505号
公益社団法人日本カヌー連盟
TEL 03-5843-0400 FAX 03-5843-0401

(イ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)
TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836
MAIL kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp

(ウ) (カヌースプリント)
〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ東近江市実行委員会事務局
(東近江市文化スポーツ部 国スポ・障スポ推進課)
TEL 0748-24-5675 FAX 0748-24-5571
MAIL canoe@city.higashioomi.lg.jp

(エ) (カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター)
〒520-0805 滋賀県大津市石場10番53号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局
(大津市政策調整部国スポ・障スポ大会局 大会競技課)
TEL 077-528-0310・0320 FAX 077-522-7766
MAIL koku-spo.canoeing@city.otsu.lg.jp

なお、(イ)～(エ)については、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10 参加上の注意

(1) 用艇、配艇及び点検

各種目とも、カヌー艇は、規則に則り、連盟の公認艇を用いる。

選手が使用する艇・パドルを含む用具・用品等の商標及び標識は、所属の都道府県名・都道府県章・都道府県マスコット及び製造者の名称・称号・ロゴ・商品名以外は認めない。

ア カヌースプリント

(ア) シングル・ペア艇は、参加都道府県の持込艇とし、フォア艇は、連盟の公認を経た滋賀県で準備した貸与艇とする。

ただし、滋賀県は、予備艇を用意する。

(イ) 競技開始3日前から実施する公式練習に関する運営事項は、別途指示する。

(ウ) 検艇ならびにライフジャケットの点検は、以下の定められた時間内に行うこと。時間は厳守すること。

2025年10月1日（水）午前9時30分から正午及び午後1時から午後4時まで

2025年10月2日（木）午前9時30分から正午まで

イ カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター

(ア) 参加都道府県の持込艇とする。

ただし、滋賀県は、予備艇を用意する。

(イ) 公式練習に関する運営事項は、別途指示する。

(ウ) 持込艇には、開催地実行委員会が用意した標識（縦20cm×横40cm）を前甲板に、艇尾より艇首に向けて貼るものとする。

(エ) 艇・ライフジャケットの検定は、以下のとおりとする。

なお、定められた時間内に受付を行い、時間は厳守すること。

ただし、カヌースラロームの事前検定（商標を含む）は自主点検とする。

事前検定 2025年10月1日（水）正午から午後2時30分まで

2025年10月2日（木）午後1時から午後4時まで

事後検定 各決勝レース後に検定を行う

(2) 服装

ア 監督・選手は式典、会議など公式行事は、各都道府県指定のユニフォームで参加すること。

イ 選手が着用する競技用ユニフォームは、競技・種目・種別で都道府県ごとに統一するものとし、商標及び標識は、所属の都道府県名・都道府県章・都道府県マスコット及び製造者の名称・称号・ロゴ・商品名以外は認めない。

(3) 安全対策

競技規則等には定められていないが、安全対策上、練習・競技時において靴の着用を推奨する。

11 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025年8月22日（金）午後2時

場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

TEL 03-5843-0400 FAX 03-5843-0401

(2) 監督会議

ア カヌースプリント

日 時 2025年10月2日（木）午後1時

場 所 滋賀県立農業大学校体育館

滋賀県近江八幡市安土町大中503

イ カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター

日 時 2025年10月2日（木）午後4時

場 所 瀬田川特設カヌー競技場内特設テント

滋賀県大津市大石東六丁目地先

(3) 表彰式

ア 種目別表彰式

(ア) カヌースプリント

場 所 伊庭内湖特設カヌー競技場内特設テント

滋賀県東近江市伊庭町地先

(イ) カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター

場 所 瀬田川特設カヌー競技場内特設テント

滋賀県大津市大石東六丁目地先

イ 総合表彰式

日 時 2025年10月6日（月）午後2時30分

場 所 伊庭内湖特設カヌー競技場内特設テント

滋賀県東近江市伊庭町地先

種目別表彰式 次第

○期 日

・ワイルドウォーター 1,500m

2025年10月3日（金） 14:40～

・スラローム 25ゲート

2025年10月4日（土） 15:30～

・スラローム 15ゲート

2025年10月5日（日） 16:00～

・ワイルドウォーター スプリント

2025年10月6日（月） 12:30～

○会 場 濱田川特設カヌー競技場 式典会場・休憩所（大テント）

○次 第

順序	次第	要領	備考
1	開式通告	放送により通告	
2	プレゼンター紹介	1～8位のプレゼンターを紹介	
3	種目別表彰	入賞者には賞状とメダルとわたSHIGA輝く賞を贈呈 ※メダルは1～3位のみ	
4	閉式通告	放送により通告	

[30]カヌー競技(スラローム・ワイルドウォーター)

大津市

競技日程

事前検定	10月 1日 (水)	12:00 ~ 14:30	
	10月 2日 (木)	13:00 ~ 16:00	
公式練習	10月 1日 (水)	10:00 ~ 12:00 カヌーワイルドウォーター	瀬田川特設カヌー競技場
		13:30 ~ 14:30 カヌースラローム(第1組)	
		14:30 ~ 15:30 カヌースラローム(第2組)	
		15:30 ~ 16:30 カヌースラローム(第3組)	
	10月 2日 (木)	10:00 ~ 11:00 カヌースラローム(第3組)	
		11:00 ~ 12:00 カヌースラローム(第1組)	
		12:00 ~ 13:00 カヌースラローム(第2組)	
		14:00 ~ 16:00 カヌーワイルドウォーター	
監督会議	10月 2日 (木)	16:00 ~ 16:30	

会場：瀬田川特設カヌー競技場

開始時刻	10月 3日 (金)	開始時刻	10月 4日 (土)
9:30	<u>カヌーワイルドウォーター 1,500m</u>		
10:20	開始式	8:54	<u>カヌースラローム 25ゲート</u>
11:20	デモンストレーション	9:10	フォアラン
11:35	ノンストップトレーニング 女子 K-1	9:50	決勝 1回目 女子 K-1
13:00	ノンストップトレーニング 男子 K-1 (1分間隔スタート)	10:40	決勝 1回目 男子 C-1
13:34	決勝 女子 K-1	11:02	決勝 1回目 男子 C-1
	決勝 男子 K-1 (2分間隔スタート)	12:20	決勝 2回目 女子 K-1
14:40	種目別表彰式	13:00	決勝 2回目 男子 K-1
15:40	デモンストレーション (パーシャル) カヌースラローム 25ゲート	13:50	決勝 2回目 女子 C-1
		14:12	決勝 2回目 男子 C-1 (2分間隔スタート)
15:30	種目別表彰式	15:30	種目別表彰式
16:10	デモンストレーション (パーシャル) カヌースラローム 15ゲート		デモンストレーション (パーシャル) カヌースラローム 15ゲート
開始時刻	10月 5日 (日)	開始時刻	10月 6日 (月)
8:54	<u>カヌースラローム 15ゲート</u>		<u>カヌーワイルドウォーター スプリント</u>
9:10	フォアラン	9:10	デモンストレーション
9:50	決勝 1回目 女子 K-1	10:00	決勝 1回目 女子 K-1
10:40	決勝 1回目 男子 K-1	10:15	決勝 1回目 男子 K-1
11:02	決勝 1回目 女子 C-1	11:00	決勝 2回目 女子 K-1
12:20	決勝 1回目 男子 C-1	11:15	決勝 2回目 男子 K-1 (1分間隔スタート)
13:00	決勝 2回目 女子 K-1		
13:50	決勝 2回目 男子 K-1		
14:12	決勝 2回目 女子 C-1 (2分間隔スタート)	12:30	種目別表彰式
16:00	決勝 2回目 男子 C-1	12:45	終了式

※ 天候により開始時刻が変更されることがあります。

※ カヌー競技総合表彰式は、10月 6日 (月) 14:30~ 東近江市・伊庭内湖特設カヌー競技場内特設テントにて行います。

参加監督・選手一覧表

地区	番号	都道府県	監督				選手								合計				照合	
			S P		S L／WW		S P				S L／WW				監督		選手	総計		
			専任	兼任	専任	兼任	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	成年男子	成年女子	選手	少年種別年齢域	選手	少年種別年齢域	専任	兼任		
北	1	北海道	1	()	1	()	2	2	4	7	3	()	3	()	2	()	21	23		
東北	2	青森県	1	()	1	()		2	1	1	2	(1)	1	()	2	()	7	9		
	3	岩手県	1	()	1	()	1		1		1	()	1	(1)	2	()	4	6		
	4	宮城県	1	()		()	2		2	1		()		()	1	()	5	6		
	5	秋田県		()	1	()					2	()		()	1	()	2	3		
	6	山形県	1	()		()	1	1	2	7		()		()	1	()	11	12		
	7	福島県	1	()	1	()	2		5			()	2	(1)	2	()	9	11		
	8	茨城県	1	()		()	1				1		()	()	1	()	2	3		
関東	9	栃木県	1	()		()			3	2		()		()	1	()	5	6		
	10	群馬県	1	()		()			6	6		()		()	1	()	12	13		
	11	埼玉県	1	()	1	()	2	2		1	1	()	1	(1)	2	()	7	9		
	12	千葉県	1	()	1	()	2	1	1	1	2	()	1	()	2	()	8	10		
	13	東京都	1	()	1	()	1	1	1	4	1	()	2	()	2	()	10	12		
	14	神奈川県	1	()	1	()			2		2	(1)	1	(1)	2	()	5	7		
	15	山梨県	1	()		()	2		4	1		()		()	1	()	7	8		
北信越	16	新潟県	1	()	1	()	1	1	1	1	1	()		()	2	()	5	7		
	17	長野県	1	()		(1)	1	1			1	()	1	(1)	1	(1)	4	5		
	18	富山県	1	()		(1)	1	1	2	6	1	()	1	()	1	(1)	12	13		
	19	石川県	1	()		(1)			1	1	1	()	1	()	1	(1)	4	5		
	20	福井県	1	()		()	1		6			()		()	1	()	7	8		
東海	21	静岡県	1	()		()	1	1		1		()		()	1	()	3	4		
	22	愛知県	1	()		()	2	2	6	7		()		()	1	()	17	18		
	23	三重県	1	()	1	()			1		2	()	1	()	2	()	4	6		
	24	岐阜県	1	()	1	()	1		1		2	(1)	2	(1)	2	()	6	8		
近畿	25	滋賀県	1	()	1	()	2	2	6	7	3	()	3	(1)	2	()	23	25		
	26	京都府	1	()		(1)	2	1	2	5	2	()		()	1	(1)	12	13		
	27	大阪府		()		()						()		()						
	28	兵庫県	1	()		(1)	1	2	6	3	1	()	1	()	1	(1)	14	15		
	29	奈良県	1	()		()	1			1		()		()	1	()	2	3		
	30	和歌山県	1	()	1	()	2		2		1	()	1	()	2	()	6	8		
中国	31	鳥取県	1	()	1	()			1		1	()	2	()	2	()	4	6		
	32	島根県	1	()		()	2	2	6	7		()		()	1	()	17	18		
	33	岡山県	1	()	1	()			1	1	3	(1)	1	()	2	()	6	8		
	34	広島県		()	1	()						()	1	()	1	()	1	2		
	35	山口県	1	()	1	()	2	1	2		1	()		()	2	()	6	8		
四国	36	香川県	1	()	1	()	1	1	4	5		()	1	()	2	()	12	14		
	37	徳島県	1	()	1	()			1		2	()		()	2	()	3	5		
	38	愛媛県	1	()	1	()	1	1	1		1	()	2	()	2	()	6	8		
	39	高知県	1	()	1	()	2		2	3	1	()		()	2	()	8	10		
九州	40	福岡県	1	()		(1)		1	1		1	()	1	()	1	(1)	4	5		
	41	佐賀県	1	()	1	()	2		1	3	1	()		()	2	()	7	9		
	42	長崎県	1	()		()	1		1			()		()	1	()	2	3		
	43	熊本県	1	()	1	()	1	1	3	3	1	()		()	2	()	9	11		
	44	大分県	1	()	1	()	1		5	5	1	()	2	()	2	()	14	16		
	45	宮崎県	1	()	1	()	1	1	2	5	1	()	1	()	2	()	11	13		
	46	鹿児島県	1	()	1	()		1	3		1	(1)	1	()	2	()	6	8		
	47	沖縄県	1	()		()	2		1			()		()	1	()	3	4		
	合計		44	()	27	(6)	48	29	101	96	44	(5)	35	(7)	71	(6)	353	424		

※ 選手兼任監督の人数は、監督の〔兼任〕欄に記入し、選手数としてカウントする。

※ 選手の内、少年種別年齢域選手を()内に再度記入する。

都道府県別参加人員一覧表

地区	番号	都道府県	成年監督	カヌーウィルト、ウォーター 女子選手名	カヌーウィルト、ウォーター 男子選手名	カヌースラローム 女子選手名		カヌースラローム 男子選手名	
				K-1	K-1	K-1	C-1	K-1	C-1
北	1	北海道	佐藤 祈	佐藤 笑	山岡 洋貴	栗原 詩	深田 真衣	中西 実直	小田 雅大
東北	2	青森県	木立 恭子	佐藤 友香	西澤 悠成			矢澤 一輝	
	3	岩手県	飛澤 寛一			千葉 花音		藤野 浩太	
	4	宮城県							
	5	秋田県	馬場 昭江					三島 遊	佐々木 将汰
	6	山形県							
	7	福島県	吉田 英記			斎藤 暖夏	押山 智音		
	8	茨城県							
関東	9	栃木県							
	10	群馬県							
	11	埼玉県	佐々木 恵				新田 美蒼空	伊藤 樹生	
	12	千葉県	武田 均			長洲 百香		今川 亮汰	中嶋 学人
	13	東京都	木村 哲	濱名 としえ		伊藤 くるみ		三澤 虎遊汰	
	14	神奈川県	斎藤 利久		平岩 達樹	小野澤 嶺		斎藤 徹平	
	15	山梨県							
北信越	16	新潟県	岩瀬 晶伍					佐伯 雄太郎	
	17	長野県	安藤 太郎			佐藤 妃花瑠		安藤 太郎	
	18	富山县	高木 信寿			荒城 祐佳			高木 信寿
	19	石川県	笛生 裕子	笛生 裕子	久司 満				
	20	福井県							
東海	21	静岡県							
	22	愛知県							
	23	三重県	森田 涼太				藤井 南帆	斎藤 康祐	斎藤 彰太
	24	岐阜県	加藤 哲平	井戸 奈津美	鈴村 侑也	井口 花恋		國枝 直紘	
近畿	25	滋賀県	池下 直輝	池田 百伽	奥田 翔悟	片岡 尚子	末永 莉	山本 嶺	山川 裕之亮
	26	京都府	田中 慶英					谷原 弘堂	田中 慶英
	27	大阪府							
	28	兵庫県	松原 啓			森川 瑞希		松原 啓	
	29	奈良県							
	30	和歌山县	岡部 成樹	松本 未久	大戸 文吾				
中国	31	鳥取県	都田 祐道	福本 かな子		遠藤 絵里子		杉村 靖彦	
	32	島根県							
	33	岡山県	山根 宏信		山根 美千義	柴田 実千代		堀田 亮羽	延江 俊基
	34	広島県	君田 弦				岡崎 遥海		
	35	山口県	森本 利春					小林 英樹	
四国	36	香川県	山下 典一				河野 清見		
	37	徳島県	山西 英樹					伊藤 大輔	松浦 耕一
	38	愛媛県	谷野 秀明	角藤 友	杉井 太一	都田 輝夏			
	39	高知県	渡邊 美江					北村 光希	
九州	40	福岡県	江田 純子	江田 純子				八橋 巧	
	41	佐賀県	坂口 洋子						坂口 裕之
	42	長崎県							
	43	熊本県	大瀬 修平		糸原 慎之介				
	44	大分県	菊田 匠秀			越智 ますみ	伊藤 由佳	河津 聖駒	
	45	宮崎県	宮田 優志			瀧口 みなみ		瀧口 将矢	
	46	鹿児島県	神田橋 貴子			樋口 優子		相良 朋玖	
	47	沖縄県							

カヌースラローム

スタートリスト

《25 ゲート》

《15 ゲート》



25 ゲート 10月4日（土）

15 ゲート 10月5日（日）

成年女子K-1 C-1

成年男子K-1 C-1

カヌースラローム 25ゲート 女子K-1

2025/10/4(土)

2分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	1回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	2回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	合計	順位
1	ヒグチ ユウコ 樋口 優子	鹿児島県 46-3	9:10				12:20					
2	エンドウ エリコ 遠藤 絵里子	鳥取県 31-3	9:12				12:22					
3	クリハラ ウタ 栗原 詩	北海道 01-3	9:14				12:24					
4	モリカワ ミズキ 森川 瑞希	兵庫県 28-3	9:16				12:26					
5	シバタ ミチヨ 柴田 実千代	岡山県 33-3	9:18				12:28					
6	サイトウ ハルカ 斎藤 暖夏	福島県 07-3	9:20				12:30					
7	チバ カノン 千葉 花音	岩手県 03-3	9:22				12:32					
8	イグチ カレン 井口 花恋	岐阜県 24-3	9:24				12:34					
9	アラキ ユカ 荒城 祐佳	富山県 18-3	9:26				12:36					
10	サトウ ヒカル 佐藤 妃花瑠	長野県 17-3	9:28				12:38					
11	カタオカ ショウコ 片岡 尚子	滋賀県 25-3	9:30				12:40					
12	オチ マスミ 越智 ますみ	大分県 44-3	9:32				12:42					
13	イトウ クルミ 伊藤 くるみ	東京都 13-3	9:34				12:44					
14	オノザワ ミネ 小野澤 嶺	神奈川県 14-3	9:36				12:46					
15	ミヤコダ テルカ 都田 輝夏	愛媛県 38-3	9:38				12:48					
16	ナガス モモカ 長洲 百香	千葉県 12-3	9:40				12:50					
17	タキグチ ミナミ 瀧口 みなみ	宮崎県 45-3	9:42				12:52					

カヌースラローム 25ゲート 男子K-1

2025/10/4 (土)

2分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	1回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	2回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	合計	順位
1	コバヤシ ヒデキ 小林 英樹	山口県 35-4	9:50				13:00					
2	アンドウ タロウ 安藤 太郎	長野県 17-4	9:52				13:02					
3	サガラ トモキ 相良 朋玖	鹿児島県 46-4	9:54				13:04					
4	ホッタ リョウ 堀田 亮羽	岡山県 33-4	9:56				13:06					
5	タニハラ コウドウ 谷原 弘堂	京都府 26-4	9:58				13:08					
6	クニエダ ナオヒロ 國枝 直紘	岐阜県 24-4	10:00				13:10					
7	サエキ ユウタロウ 佐伯 雄太郎	新潟県 16-4	10:02				13:12					
8	ナカニシ サネナオ 中西 実直	北海道 01-4	10:04				13:14					
9	ミサワ コユウタ 三澤 虎遊汰	東京都 13-4	10:06				13:16					
10	ヤツハシ タクミ 八橋 巧	福岡県 40-4	10:08				13:18					
11	フジノ コウタ 藤野 浩太	岩手県 03-4	10:10				13:20					
12	スギムラ ヤスヒコ 杉村 靖彦	鳥取県 31-4	10:12				13:22					
13	カワヅ セイマ 河津 聖駒	大分県 44-4	10:14				13:24					
14	イトウ ダイスケ 伊藤 大輔	徳島県 37-4	10:16				13:26					
15	マツバラ ケイ 松原 啓	兵庫県 28-4	10:18				13:28					
16	イトウ タツキ 伊藤 樹生	埼玉県 11-4	10:20				13:30					
17	イマガワ リョウタ 今川 亮汰	千葉県 12-4	10:22				13:32					
18	ミシマ ユウ 三島 遊	秋田県 05-4	10:24				13:34					
19	サイトウ コウスケ 齋藤 康祐	三重県 23-4	10:26				13:36					
20	ヤマモト リョウ 山本 嶺	滋賀県 25-4	10:28				13:38					
21	サイトウ テッペイ 齋藤 徹平	神奈川県 14-4	10:30				13:40					
22	タキグチ マサヤ 瀧口 将矢	宮崎県 45-4	10:32				13:42					
23	ヤザワ カズキ 矢澤 一輝	青森県 02-4	10:34				13:44					
24	キタムラ コウキ 北村 光希	高知県 39-4	10:36				13:46					

カヌースラローム 15ゲート 女子K-1

2025/10/5(日)

2分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	1回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	2回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	合計	順位
1	シバタ ミチヨ 柴田 実千代	岡山県 33-3	9:10				12:20					
2	エンドウ エリコ 遠藤 絵里子	鳥取県 31-3	9:12				12:22					
3	モリカワ ミズキ 森川 瑞希	兵庫県 28-3	9:14				12:24					
4	クリハラ ウタ 栗原 詩	北海道 01-3	9:16				12:26					
5	ヒグチ ユウコ 樋口 優子	鹿児島県 46-3	9:18				12:28					
6	イグチ カレン 井口 花恋	岐阜県 24-3	9:20				12:30					
7	チバ カノン 千葉 花音	岩手県 03-3	9:22				12:32					
8	アラキ ユカ 荒城 祐佳	富山県 18-3	9:24				12:34					
9	サトウ ヒカル 佐藤 妃花瑠	長野県 17-3	9:26				12:36					
10	カタオカ ショウコ 片岡 尚子	滋賀県 25-3	9:28				12:38					
11	サイトウ ハルカ 斎藤 暖夏	福島県 07-3	9:30				12:40					
12	ミヤコダ テルカ 都田 輝夏	愛媛県 38-3	9:32				12:42					
13	タキグチ ミナミ 瀧口 みなみ	宮崎県 45-3	9:34				12:44					
14	オノザワ ミネ 小野澤 嶺	神奈川県 14-3	9:36				12:46					
15	ナガス モモカ 長洲 百香	千葉県 12-3	9:38				12:48					
16	オチ マスミ 越智 ますみ	大分県 44-3	9:40				12:50					
17	イトウ クルミ 伊藤 くるみ	東京都 13-3	9:42				12:52					

カヌースラローム 15ゲート 男子K-1

2025/10/5 (日)

2分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	1回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	2回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	合計	順位
1	サガラ トモキ 相良 朋玖	鹿児島県 46-4	9:50				13:00					
2	ホッタ リョウ 堀田 亮羽	岡山県 33-4	9:52				13:02					
3	ナカニシ サネナオ 中西 実直	北海道 01-4	9:54				13:04					
4	コバヤシ ヒデキ 小林 英樹	山口県 35-4	9:56				13:06					
5	サエキ ユウタロウ 佐伯 雄太郎	新潟県 16-4	9:58				13:08					
6	タニハラ コウドウ 谷原 弘堂	京都府 26-4	10:00				13:10					
7	クニエダ ナオヒロ 國枝 直紘	岐阜県 24-4	10:02				13:12					
8	アンドウ タロウ 安藤 太郎	長野県 17-4	10:04				13:14					
9	マツバラ ケイ 松原 啓	兵庫県 28-4	10:06				13:16					
10	ミサワ コユウタ 三澤 虎遊汰	東京都 13-4	10:08				13:18					
11	フジノ コウタ 藤野 浩太	岩手県 03-4	10:10				13:20					
12	イトウ ダイスケ 伊藤 大輔	徳島県 37-4	10:12				13:22					
13	ヤツハシ タクミ 八橋 巧	福岡県 40-4	10:14				13:24					
14	カワヅ セイマ 河津 聖駒	大分県 44-4	10:16				13:26					
15	スギムラ ヤスヒコ 杉村 靖彦	鳥取県 31-4	10:18				13:28					
16	ミシマ ユウ 三島 遊	秋田県 05-4	10:20				13:30					
17	タキグチ マサヤ 瀧口 将矢	宮崎県 45-4	10:22				13:32					
18	イトウ タツキ 伊藤 樹生	埼玉県 11-4	10:24				13:34					
19	サイトウ コウスケ 齋藤 康祐	三重県 23-4	10:26				13:36					
20	ヤザワ カズキ 矢澤 一輝	青森県 02-4	10:28				13:38					
21	サイトウ テッペイ 齋藤 徹平	神奈川県 14-4	10:30				13:40					
22	キタムラ コウキ 北村 光希	高知県 39-4	10:32				13:42					
23	ヤマモト リョウ 山本 嶺	滋賀県 25-4	10:34				13:44					
24	イマガワ リョウタ 今川 亮汰	千葉県 12-4	10:36				13:46					

カヌースラローム 25ゲート 女子C-1

2025/10/4(土)

2分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	1回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	2回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	合計	順位
1	イトウ ヨシカ 伊藤 由佳	大分県 44-5	10:40				13:50					
2	オシヤマ トキネ 押山 智音	福島県 07-5	10:42				13:52					
3	コウノ キヨミ 河野 清見	香川県 36-5	10:44				13:54					
4	スエナガ シオリ 末永 菜	滋賀県 25-5	10:46				13:56					
5	フカダ マイ 深田 真衣	北海道 01-5	10:48				13:58					
6	フジイ ナホ 藤井 南帆	三重県 23-5	10:50				14:00					
7	ニッタ ミソラ 新田 美蒼空	埼玉県 11-5	10:52				14:02					
8	オカザキ ハルカ 岡崎 遥海	広島県 34-5	10:54				14:04					

カヌースラローム 25ゲート 男子C-1

2025/10/4(土)

2分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	1回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	2回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	合計	順位
1	ノブエ トシキ 延江 俊基	岡山県 33-6	11:02				14:12					
2	オダ マサヒロ 小田 雅大	北海道 01-6	11:04				14:14					
3	サカグチ ヒロユキ 坂口 裕之	佐賀県 41-6	11:06				14:16					
4	タカギ ノブヒサ 高木 信寿	富山県 18-6	11:08				14:18					
5	ヤマカワ ユウノスケ 山川 裕之亮	滋賀県 25-6	11:10				14:20					
6	タナカ ジエイ 田中 慈英	京都府 26-6	11:12				14:22					
7	マツウラ コウイチ 松浦 耕一	徳島県 37-6	11:14				14:24					
8	ナカジマ マナト 中嶋 学人	千葉県 12-6	11:16				14:26					
9	サイトウ ショウタ 齋藤 彰太	三重県 23-6	11:18				14:28					
10	ササキ ショウタ 佐々木 将汰	秋田県 05-6	11:20				14:30					

カヌースラローム 15ゲート 女子C-1

2025/10/5(日)

2分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	1回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	2回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	合計	順位
1	コウノ キヨミ 河野 清見	香川県 36-5	10:40				13:50					
2	オシヤマ トキネ 押山 智音	福島県 07-5	10:42				13:52					
3	イトウ ヨシカ 伊藤 由佳	大分県 44-5	10:44				13:54					
4	フカダ マイ 深田 真衣	北海道 01-5	10:46				13:56					
5	スエナガ シオリ 末永 葉	滋賀県 25-5	10:48				13:58					
6	フジイ ナホ 藤井 南帆	三重県 23-5	10:50				14:00					
7	オカザキ ハルカ 岡崎 遥海	広島県 34-5	10:52				14:02					
8	ニッタ ミソラ 新田 美蒼空	埼玉県 11-5	10:54				14:04					

カヌースラローム 15ゲート 男子C-1

2025/10/5(日)

2分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	1回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	2回目 発艇時間	タイム 分 秒	タイム ポイント	ペナルティ ポイント	合計	順位
1	オダ マサヒロ 小田 雅大	北海道 01-6	11:02				14:12					
2	ノブエ トシキ 延江 俊基	岡山県 33-6	11:04				14:14					
3	サカグチ ヒロユキ 坂口 裕之	佐賀県 41-6	11:06				14:16					
4	タカギ ノブヒサ 高木 信寿	富山県 18-6	11:08				14:18					
5	ヤマカワ ユウノスケ 山川 裕之亮	滋賀県 25-6	11:10				14:20					
6	マツウラ コウイチ 松浦 耕一	徳島県 37-6	11:12				14:22					
7	タナカ ジエイ 田中 慈英	京都府 26-6	11:14				14:24					
8	サイトウ ショウタ 斎藤 彰太	三重県 23-6	11:16				14:26					
9	ササキ ショウタ 佐々木 将汰	秋田県 05-6	11:18				14:28					
10	ナカジマ マナト 中嶋 学人	千葉県 12-6	11:20				14:30					

カヌーワイルドウォーター スタートリスト

《1,500m》
《スプリント》



1,500m	10月3日（金）
スプリント	10月6日（月）
成年女子K-1	
成年男子K-1	

カヌーワイルドウォーター 1, 500m 女子K-1

2025/10/3 (金)

2分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	発艇時間	到着時間	タイム 分 秒	順位
1	サトウ エミ 佐藤 笑	北海道 01-1	13:00			
2	マツモト ミク 松本 未久	和歌山県 30-1	13:02			
3	エダ ジュンコ 江田 純子	福岡県 40-1	13:04			
4	イケダ モモカ 池田 百伽	滋賀県 25-1	13:06			
5	カクトウ ユウ 角藤 友	愛媛県 38-1	13:08			
6	イド ナツミ 井戸 奈津美	岐阜県 24-1	13:10			
7	フクモト カナコ 福本 かな子	鳥取県 31-1	13:12			
8	ハマナ トシエ 濱名 としえ	東京都 13-1	13:14			
9	ササオ ヒロコ 笹生 裕子	石川県 19-1	13:16			
10	サトウ トモカ 佐藤 友香	青森県 02-1	13:18			

カヌーワイルドウォーター 1, 500m 男子K-1

2025/10/3 (金)

2分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	発艇時間	到着時間	タイム 分 秒	順位
1	イトハラ シンノスケ 糸原 慎之介	熊本県 43-2	13:34			
2	ニシザワ ユウセイ 西澤 悠成	青森県 02-2	13:36			
3	スギイ タイチ 杉井 太一	愛媛県 38-2	13:38			
4	ヤマオカ ヒロキ 山岡 洋貴	北海道 01-2	13:40			
5	ヒライワ タツキ 平岩 達樹	神奈川県 14-2	13:42			
6	キュウジ ミツル 久司 満	石川県 19-2	13:44			
7	オクダ ショウゴ 奥田 翔悟	滋賀県 25-2	13:46			
8	ヤマネ ミチヨシ 山根 美千義	岡山県 33-2	13:48			
9	スズムラ ユウヤ 鈴村 侑也	岐阜県 24-2	13:50			
10	オオト ブンゴ 大戸 文吾	和歌山県 30-2	13:52			

カヌーワイルドウォーター スプリント 女子K-1

2025/10/6 (月)

1分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	1回目 発艇時間	到着時間	タイム 分 秒	2回目 発艇時間	到着時間	タイム 分 秒	合計	順位
1	サトウ エミ 佐藤 笑	北海道 01-1	10:00			11:00				
2	エダ ジュンコ 江田 純子	福岡県 40-1	10:01			11:01				
3	マツモト ミク 松本 未久	和歌山県 30-1	10:02			11:02				
4	イド ナツミ 井戸 奈津美	岐阜県 24-1	10:03			11:03				
5	イケダ モモカ 池田 百伽	滋賀県 25-1	10:04			11:04				
6	カクトウ ユウ 角藤 友	愛媛県 38-1	10:05			11:05				
7	フクモト カナコ 福本 かな子	鳥取県 31-1	10:06			11:06				
8	サトウ トモカ 佐藤 友香	青森県 02-1	10:07			11:07				
9	ササオ ヒロコ 笹生 裕子	石川県 19-1	10:08			11:08				
10	ハマナ トシエ 濱名 としえ	東京都 13-1	10:09			11:09				

カヌーワイルドウォーター スプリント 男子K-1

2025/10/6 (月)

1分間隔

スタート順	選手名	都道府県 ゼッケン	1回目 発艇時間	到着時間	タイム 分 秒	2回目 発艇時間	到着時間	タイム 分 秒	合計	順位
1	ニシザワ ユウセイ 西澤 悠成	青森県 02-2	10:15			11:15				
2	イトハラ シンノスケ 糸原 慎之介	熊本県 43-2	10:16			11:16				
3	スギイ タイチ 杉井 太一	愛媛県 38-2	10:17			11:17				
4	キュウジ ミツル 久司 満	石川県 19-2	10:18			11:18				
5	ヤマオカ ヒロキ 山岡 洋貴	北海道 01-2	10:19			11:19				
6	ヒライワ タツキ 平岩 達樹	神奈川県 14-2	10:20			11:20				
7	ヤマネ ミチヨシ 山根 美千義	岡山県 33-2	10:21			11:21				
8	オオト ブンゴ 大戸 文吾	和歌山県 30-2	10:22			11:22				
9	スズムラ ユウヤ 鈴村 侑也	岐阜県 24-2	10:23			11:23				
10	オクダ ショウゴ 奥田 翔悟	滋賀県 25-2	10:24			11:24				

カヌー競技の見方

カヌー競技の現況

昭和39年、(1964年) 東京オリンピックのカヌー競技に日本が初めて参加して以来、カヌースポーツに対する国民の関心が高まってきました。

もともとカヌーは、私たちの祖先が海・湖沼などで物資輸送や交通手段、そして狩猟に使用する等生活にかかせない道具として、大切にされてきました。そのようなことから歴史は古く色々なスポーツよりも人々に親しまれています。特に、欧州各国での普及はめざましく、1924年パリオリンピックで公開競技、1936年ベルリンオリンピックから正式競技に採用され、世界でも最も普及したスポーツとなっています。

近年は、自然と親しむアウトドアスポーツとしても注目を集め愛好家も増えて、生涯スポーツとして盛んに行われています。我が国においては、日本カヌー連盟を中心として全国各都道府県にカヌー協会が設置されております。国民スポーツ大会には、昭和57年第37回国民体育大会(島根県)より正式競技として採用され全国に普及発展しています。

カヌーの概要

カヌーには、カヤック(K)とカナディアン(C)の2種類があります。カヤックは、艇の中央部に座り、パドル(櫂・かい)の両端にあるブレード(水かき)で、左右交互に水をかきながら艇を進めます。また、カナディアンは、立てひざもしくは片ひざの姿勢を保ち、片側にブレードの付いたパドルを操作し進みます。スプリント艇(カヤックのみ)のみ、足で舵(かじ)を操作しながら方向を整えますが、それ以外は全てパドルを操作し、方向を整えながら進みます。

ボートとカヌーの違いは、ボートはリガー(オールを固定する場所)が取り付けてあるのに対し、カヌーはどのタイプもパドルが固定されていません。また、ボートは後ろ向きに漕ぎ推進させますが、カヌーはすべて前向きに漕ぎ推進させます。

カヌー競技の種目と種別

国民スポーツ大会の競技には、河川の急流で行う「カヌースラローム競技」、「カヌーワイルドウォーター競技」と静水面で行う「カヌースプリント競技」の3種目があります。

各種目とも、選手は次の(A)・(B)に参加できることになっています。

- カヌースラローム (A) 25ゲート (B) 15ゲート
- カヌーワイルドウォーター (A) 1,500m (B) スプリント
- カヌースプリント (A) 500m (B) 200m

カヌースラローム

カヌーを使った回転競技で、変化に富んだ流れのある河川で行う競技です。

ICF（国際カヌー連盟）の競技規則の改定に伴い、種目名称及び略称の変更が行われ、平成21年4月1日から「スラロームレーシング（SLR）」から「カヌースラローム（SL）」となりました。

ダウンストリームゲート（こぎ下り：緑と白のポール）とアップストリームゲート（こぎ上がり：赤と白のポール）を、パドルを使ってポールに触れないよう通過し、その速さを競います。国民スポーツ大会では、25ゲート（ポール）と15ゲート（ポール）で競技が行われ、コースの距離は150～400m内でゲートが設定されます。順位は、スタートからゴールまでの所要タイムに、各ゲート通過時のペナルティ（罰点）を加えて決定します。したがって、点数の少ない方が上位となります。各選手は2回漕航し、そのうち良いほうの成績で順位付けがされます。

これまでK（カヤック）種目だけが実施されていましたが、平成29年愛媛国体からC（カナディアン）種目が追加されました。

◎ ゲート通過時のペナルティ

正しく通過	0点
1本又は2本のポールに触れる（何回触れても）	2点
不通過	50点

◎ 成績の計算例

スタートからゴールまでのタイム（1分30秒として）

1分30秒=90点（1秒を1点）

ペナルティ（罰点）・・・ポールに接触1カ所、不通過1カ所として

2点+50点= 52点

成績（タイムとペナルティの合計）

90+52=142点

カヌーワイルドウォーター

岩などの障害をかわしながら、流れの激しい河川を一気に漕ぎ下る競技で、順位は所要タイムで決定されます。

ICF（国際カヌー連盟）の競技規則の改定に伴い、種目名称及び略称の変更が行われ、平成21年4月1日から「ワイルドウォーターレーシング（WWR）」から「カヌーワイルドウォーター（WW）」となりました。

競技は、1,500mとスプリント（国民スポーツ大会ではスラロームのコースを使用）の2つの距離で行われます。デモンストレーション、ノンストップトレーニング（練習、1,500mのみ）に続いて、1,500mでは1回、スプリントでは2回（良いほうの成績で順位付けがされる）の漕行が行われます。

総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子		シングル及びペアの各種目に1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点。
成年女子	成年女子	フォアの各種目には、1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。
少年男子	少年女子	ただし、同順位の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお得点は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。
少年女子		

2 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。



種別順位得点 都道府県名	少年男子		少年女子		成年男子		成年女子		参加得点	合 計	順 位
	順 位	競技得点									
1 北海道											
2 青森											
3 岩手											
4 宮城											
5 秋田											
6 山形											
7 福島											
8 茨城											
9 栃木											
10 群馬											
11 埼玉											
12 千葉											
13 東京											
14 神奈川											
15 山梨											
16 新潟											
17 長野											
18 富山											
19 石川											
20 福井											
21 静岡											
22 愛知											
23 三重											
24 岐阜											
25 滋賀											
26 京都											
27 大阪											
28 兵庫											
29 奈良											
30 和歌山											
31 鳥取											
32 島根											
33 岡山											
34 広島											
35 山口											
36 香川											
37 徳島											
38 愛媛											
39 高知											
40 福岡											
41 佐賀											
42 長崎											
43 熊本											
44 大分											
45 宮崎											
46 鹿児島											
47 沖縄											

カヌー競技 女子総合（皇后杯得点）成績一覧表



都道府県名	少年女子		成年女子		参加得点	合 計	順 位
	順 位	競技得点	順 位	競技得点			
1 北海道							
2 青森							
3 岩手							
4 宮城							
5 秋田							
6 山形							
7 福島							
8 茨城							
9 栃木							
10 群馬							
11 埼玉							
12 千葉							
13 東京							
14 神奈川							
15 山梨							
16 新潟							
17 長野							
18 富山							
19 石川							
20 福井							
21 静岡							
22 愛知							
23 三重							
24 岐阜							
25 滋賀							
26 京都							
27 大阪							
28 兵庫							
29 奈良							
30 和歌山							
31 鳥取							
32 島根							
33 岡山							
34 広島							
35 山口							
36 香川							
37 徳島							
38 愛媛							
39 高知							
40 福岡							
41 佐賀							
42 長崎							
43 熊本							
44 大分							
45 宮崎							
46 鹿児島							
47 沖縄							

カヌー競技 男子種目・種別得点集計表



種目・種別 都道府県名	成年男子						少年男子						合 計		
	SPK-1		SPC-1		SLK-1		SLC-1		WWK-1		合 計	SPK-1	SPC-1	SPC-1	SPC-2
	5 0 0 0 m	2 0 0 0 m	5 0 0 0 m	2 0 0 0 m	2 5 5 5 ト	1 5 5 5 ト	2 5 5 5 ト	1 5 5 5 ト	1 5 5 5 m	ス プ リ ン ト	5 0 0 0 m	2 0 0 0 m	5 0 0 0 m	2 0 0 0 m	5 0 0 0 m
1 北海道															
2 青森															
3 岩手															
4 宮城															
5 秋田															
6 山形															
7 福島															
8 茨城															
9 栃木															
10 群馬															
11 埼玉															
12 千葉															
13 東京															
14 神奈川															
15 山梨															
16 新潟															
17 長野															
18 富山															
19 石川															
20 福井															
21 静岡															
22 愛知															
23 三重															
24 岐阜															
25 滋賀															
26 京都															
27 大阪															
28 兵庫															
29 奈良															
30 和歌山															
31 鳥取															
32 島根															
33 岡山															
34 広島															
35 山口															
36 香川															
37 徳島															
38 愛媛															
39 高知															
40 福岡															
41 佐賀															
42 長崎															
43 熊本															
44 大分															
45 宮崎															
46 鹿児島															
47 沖縄															

カヌー競技 女子種目・種別得点集計表



種目・種別 都道府県名	成年女子							少年女子					合 計	
	SPK-1		SPC-1		SLK-1		SLC-1		WWK-1		SPK-1	SPK-2	SPK-4	
	5 0 0 m	2 0 0 m	5 0 0 m	2 0 0 m	2 5 0 m	1 5 0 m	2 5 0 m	1 5 0 m	1 5 0 m	ス プ リ ン ト	5 0 0 m	2 0 0 m	5 0 0 m	2 0 0 m
1 北海道														
2 青森														
3 岩手														
4 宮城														
5 秋田														
6 山形														
7 福島														
8 茨城														
9 栃木														
10 群馬														
11 埼玉														
12 千葉														
13 東京														
14 神奈川														
15 山梨														
16 新潟														
17 長野														
18 富山														
19 石川														
20 福井														
21 静岡														
22 愛知														
23 三重														
24 岐阜														
25 滋賀														
26 京都														
27 大阪														
28 兵庫														
29 奈良														
30 和歌山														
31 鳥取														
32 島根														
33 岡山														
34 広島														
35 山口														
36 香川														
37 徳島														
38 愛媛														
39 高知														
40 福岡														
41 佐賀														
42 長崎														
43 熊本														
44 大分														
45 宮崎														
46 鹿児島														
47 沖縄														

カヌー競技 種目別得点表



種別	種目	1位(8点)	2位(7点)	3位(6点)	4位(5点)	5位(4点)	6位(3点)	7位(2点)	8位(1点)
		都道府県名							
成年男子	カヌースプリント K-1	500m							
		200m							
	カヌースプリント C-1	500m							
		200m							
	カヌースラローム K-1	25ゲート							
		15ゲート							
	カヌースラローム C-1	25ゲート							
		15ゲート							
	カヌーワイルドウォーター K-1	1500m							
		スプリント							
成年女子	カヌースプリント K-1	500m							
		200m							
	カヌースプリント C-1	500m							
		200m							
	カヌースラローム K-1	25ゲート							
		15ゲート							
	カヌースラローム C-1	25ゲート							
		15ゲート							
	カヌーワイルドウォーター K-1	1500m							
		スプリント							
少年男子	カヌースプリント K-1	500m							
		200m							
	カヌースプリント K-2	500m							
		200m							
	カヌースプリント C-1	500m							
		200m							
	カヌースプリント C-2	500m							
		200m							
	カヌースプリント K-1	500m							
		200m							
少年女子	カヌースプリント K-2	500m							
		200m							

種別	種目	1位 (24点)	2位 (21点)	3位 (18点)	4位 (15点)	5位 (12点)	6位 (9点)	7位 (6点)	8位 (3点)
		都道府県名	都道府県名	都道府県名	都道府県名	都道府県名	都道府県名	都道府県名	都道府県名
少年女子	カヌースプリント K-4	500m							
		200m							

栄光の軌跡（スラローム・25ゲート・成年女子・K-1）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成25	東京都	矢澤亜季 (埼玉)	竹下百合子 (東京)	遠藤絵里子 (鳥取)	海渕 萌 (岐阜)	寺垣 光 (富山)	山田亜沙妃 (新潟)	都田輝夏 (茨城)	村山夏美 (山口)
26	長崎県	矢澤亜季 (長野)	遠藤絵里子 (鳥取)	村山夏美 (山口)	海渕 萌 (岐阜)	三島 廉 (東京)	八木愛莉 (神奈川)	荒城祐佳 (富山)	都田輝夏 (茨城)
27	和歌山県	伊藤由佳 (和歌山)	海渕 萌 (岐阜)	三島 廉 (東京)	遠藤絵里子 (鳥取)	岡崎遙海 (山口)	八木愛莉 (神奈川)	都田輝夏 (茨城)	石田元子 (愛知)
28	岩手県	三島 廉 (東京)	遠藤絵里子 (鳥取)	海渕 萌 (岐阜)	岡崎遙海 (山口)	八木優芽 (神奈川)	荒城祐佳 (富山)	佐藤綾乃 (秋田)	石田元子 (愛知)
29	愛媛県	三島 廉 (東京)	海渕 萌 (岐阜)	遠藤絵里子 (鳥取)	都田輝夏 (愛媛)	岡崎遙海 (山口)	八木優芽 (神奈川)	荒城祐佳 (富山)	上野由斐 (千葉)
30	福井県	伊藤由佳 (福井)	岡崎遙海 (山口)	都田輝夏 (愛媛)	遠藤絵里子 (鳥取)	荒城祐佳 (富山)	富沢くるみ (北海道)	八木優芽 (神奈川)	伊藤くるみ (東京)
令和元	茨城県	伊藤由佳 (福井)	岡崎遙海 (山口)	八木優芽 (神奈川)	都田輝夏 (愛媛)	遠藤絵里子 (鳥取)	伊藤くるみ (東京)	藤井南帆 (千葉)	荒城祐佳 (富山)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	都田輝夏 (愛媛)	三島 廉 (秋田)	富沢くるみ (栃木)	藤井南帆 (三重)	長洲百香 (千葉)	越智ますみ (大分)	荒城祐佳 (富山)	瀧口みなみ (東京)
5	鹿児島県	伊藤くるみ (東京)	富沢くるみ (栃木)	都田輝夏 (愛媛)	藤井南帆 (三重)	越智ますみ (大分)	吉川颯姫 (千葉)	荒城祐佳 (富山)	井口花恋 (岐阜)
6	佐賀県	矢澤亜季 (佐賀)	伊藤くるみ (東京)	小野澤嶺 (神奈川)	都田輝夏 (愛媛)	越智ますみ (大分)	富沢くるみ (栃木)	藤井南帆 (三重)	瀧口みなみ (宮崎)

栄光の軌跡（スラローム・25ゲート・成年女子・C-1）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成29	愛媛県	佐藤綾乃 (秋田)	福馬つばさ (鳥取)	寺垣 光 (富山)	山川理佳子 (東京)	宇都宮 葉 (愛媛)	神田橋貴子 (鹿児島)	松原晃子 (兵庫)	高木花鈴 (北海道)
30	福井県	三島 廉 (東京)	佐藤綾乃 (秋田)	宇都宮葉 (愛媛)	寺垣 光 (富山)	福馬つばさ (鳥取)	岩田祥子 (愛知)	神田橋貴子 (鹿児島)	深田真衣 (北海道)
令和元	茨城県	宇都宮葉 (愛媛)	寺垣 光 (富山)	福馬つばさ (鳥取)	山川理佳子 (東京)	小杉花 (滋賀)	岩田祥子 (愛知)	神田橋貴子 (鹿児島)	深田真衣 (北海道)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	岡崎遙海 (広島)	佐藤彩乃 (秋田)	岩田祥子 (愛知)	山川理佳子 (東京)	深田真衣 (北海道)	後藤紗世 (栃木)	片岡尚子 (滋賀)	樋口優子 (鹿児島)
5	鹿児島県	後藤紗世 (栃木)	片岡尚子 (滋賀)	坂口洋子 (佐賀)	樋口優子 (鹿児島)	河野清見 (香川)			
6	佐賀県	岡崎遙海 (広島)	佐々木廉 (秋田)	新田美蒼空 (埼玉)	井口花恋 (岐阜)	荒城祐佳 (富山)	末永 葉 (滋賀)	神田橋美貴 (鹿児島)	深田真衣 (北海道)

栄光の軌跡（スラローム・25ゲート・成年男子・K-1）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成25	東京都	吉田 拓 (京都)	矢澤一輝 (長野)	金谷 徹 (和歌山)	佐々木翼 (秋田)	加藤哲平 (岐阜)	安藤太郎 (東京)	小倉誉史 (千葉)	小島大地 (神奈川)
26	長崎県	矢澤一輝 (長野)	佐伯雄太郎 (富山)	金谷 徹 (和歌山)	加藤哲平 (岐阜)	佐々木優 (秋田)	市場大樹 (山口)	二上 悠 (島根)	小倉誉史 (千葉)
27	和歌山県	足立和也 (山口)	吉田 拓 (京都)	矢澤一輝 (長野)	金谷 徹 (和歌山)	佐々木翼 (秋田)	佐伯雄太郎 (富山)	浅見明太 (東京)	秋田康行 (愛知)
28	岩手県	足立和也 (山口)	矢澤一輝 (長野)	佐々木翼 (秋田)	加藤哲平 (岐阜)	小島大地 (神奈川)	佐伯雄太郎 (富山)	吉田 拓 (京都)	浅見明太 (東京)
29	愛媛県	足立和也 (山口)	佐々木翼 (秋田)	田中雄己 (岐阜)	小島大地 (神奈川)	浅見明太 (東京)	佐伯雄太郎 (新潟)	延江直基 (岡山)	藤野浩太 (愛媛)
30	福井県	齋藤康祐 (神奈川)	金谷 徹 (福井)	小島大地 (三重)	山本 嶺 (千葉)	田中雄己 (岐阜)	佐々木翼 (秋田)	佐伯雄太郎 (新潟)	瀧口将矢 (東京)
令和元	茨城県	足立和也 (山口)	小島大地 (三重)	山本 嶺 (千葉)	吉田 拓 (京都)	齋藤康祐 (神奈川)	田中雄己 (岐阜)	三島遊 (東京)	鳴原健司 (福島)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	田中雄己 (岐阜)	齋藤康祐 (栃木)	瀧口将矢 (東京)	矢澤一輝 (青森)	小島大地 (三重)	山本 嶺 (滋賀)	北村光希 (高知)	今川亮汰 (千葉)
5	鹿児島県	田中雄己 (岐阜)	山本 嶺 (滋賀)	北村光希 (高知)	今川亮汰 (千葉)	三島遊 (東京)	小島大地 (三重)	矢澤一輝 (青森)	齋藤徹平 (神奈川)
6	佐賀県	山本 嶺 (滋賀)	禰寢大亮 (東京)	矢澤一輝 (青森)	藤野浩太 (岩手)	加藤哲平 (岐阜)	齋藤徹平 (神奈川)	瀧口将矢 (宮崎)	好田圭作 (千葉)

栄光の軌跡（スラローム・25ゲート・成年男子・C-1）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成29	愛媛県	谷口和也 (徳島)	佐々木翼 (秋田)	加藤哲平 (岐阜)	池田拓也 (神奈川)	塙原嘉之佑 (富山)	奥田翔悟 (滋賀)	市場大樹 (山口)	佐々木裕史 (北海道)
30	福井県	佐々木将汰 (秋田)	谷口和也 (徳島)	加藤哲平 (岐阜)	奥田翔悟 (滋賀)	池田拓也 (神奈川)	塙原嘉之佑 (富山)	高橋怜也 (山口)	高田和樹 (福井)
令和元	茨城県	谷口和也 (徳島)	加藤哲平 (岐阜)	齋藤彰太 (神奈川)	佐々木優 (秋田)	佐々木裕史 (北海道)	塙原嘉之佑 (富山)	田中慈英 (京都)	宮川遼大 (鹿児島)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	佐々木将汰 (秋田)	佐々木優 (佐賀)	山本圭悟 (千葉)	高橋怜也 (山口)	田中慈英 (京都)	塙原嘉之佑 (富山)	久保雄一 (北海道)	加藤哲平 (岐阜)
5	鹿児島県	山本圭悟 (千葉)	佐々木優 (佐賀)	加藤哲平 (岐阜)	高橋怜也 (山口)	松浦耕一 (徳島)	田中慈英 (京都)	宮川遼大 (鹿児島)	佐伯雄太郎 (新潟)
6	佐賀県	齋藤彰太 (三重)	佐々木優 (佐賀)	佐々木将汰 (秋田)	松浦耕一 (徳島)	田中慈英 (京都)	高木信寿 (富山)	延江俊基 (岡山)	小野隆充 (大分)

栄光の軌跡（スラローム・15ゲート・成年女子・K-1）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成25	東京都	矢澤亜季 (埼玉)	竹下百合子 (東京)	遠藤絵里子 (鳥取)	海渕 萌 (岐阜)	村山夏美 (山口)	八木愛莉 (神奈川)	山田亜沙妃 (新潟)	寺垣 光 (富山)
26	長崎県	矢澤亜季 (長野)	海渕 萌 (岐阜)	遠藤絵里子 (鳥取)	三島 廉 (東京)	村山夏美 (山口)	八木愛莉 (神奈川)	荒城祐佳 (富山)	都田輝夏 (茨城)
27	和歌山県	伊藤由佳 (和歌山)	海渕 萌 (岐阜)	岡崎遙海 (山口)	三島 廉 (東京)	都田輝夏 (茨城)	遠藤絵里子 (鳥取)	荒城祐佳 (富山)	八木愛莉 (神奈川)
28	岩手県	三島 廉 (東京)	遠藤絵里子 (鳥取)	岡崎遙海 (山口)	海渕 萌 (岐阜)	八木優芽 (神奈川)	荒城祐佳 (富山)	石田元子 (愛知)	佐藤綾乃 (秋田)
29	愛媛県	遠藤絵里子 (鳥取)	都田輝夏 (愛媛)	三島 廉 (東京)	岡崎遙海 (山口)	海渕 萌 (岐阜)	八木優芽 (神奈川)	石田元子 (愛知)	鈴木恵子 (秋田)
30	福井県	伊藤由佳 (福井)	都田輝夏 (愛媛)	岡崎遙海 (山口)	荒城祐佳 (富山)	遠藤絵里子 (鳥取)	八木優芽 (神奈川)	伊藤くるみ (東京)	富沢くるみ (北海道)
令和元	茨城県	伊藤由佳 (福井)	岡崎遙海 (山口)	都田輝夏 (愛媛)	伊藤くるみ (東京)	遠藤絵里子 (鳥取)	八木優芽 (神奈川)	越智ますみ (北海道)	荒城祐佳 (富山)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	三島 廉 (秋田)	富沢くるみ (栃木)	都田輝夏 (愛媛)	長洲百香 (千葉)	藤井南帆 (三重)	瀧口みなみ (東京)	福馬つばさ (鳥取)	荒城祐佳 (富山)
5	鹿児島県	伊藤くるみ (東京)	都田輝夏 (愛媛)	富沢くるみ (栃木)	越智ますみ (北海道)	藤井南帆 (三重)	吉川颯姫 (千葉)	荒城祐佳 (富山)	井口花恋 (岐阜)
6	佐賀県	矢澤亜季 (佐賀)	伊藤くるみ (東京)	越智ますみ (大分)	富沢くるみ (栃木)	都田輝夏 (愛媛)	瀧口みなみ (宮崎)	小野澤嶺 (神奈川)	福馬つばさ (鳥取)

栄光の軌跡（スラローム・15ゲート・成年女子・C-1）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成29	愛媛県	佐藤綾乃 (秋田)	福馬つばさ (鳥取)	寺垣 光 (富山)	山川里佳子 (東京)	松原晃子 (兵庫)	神田橋貴子 (鹿児島)	亀井照代 (徳島)	高木花鈴 (北海道)
30	福井県	三島 廉 (東京)	佐藤綾乃 (秋田)	宇都宮栄 (愛媛)	寺垣 光 (富山)	福馬つばさ (鳥取)	神田橋貴子 (鹿児島)	深田真衣 (北海道)	岩田祥子 (愛知)
令和元	茨城県	宇都宮栄 (愛媛)	福馬つばさ (鳥取)	寺垣 光 (富山)	神田橋貴子 (鹿児島)	山川里佳子 (東京)	深田真衣 (北海道)	岩田祥子 (愛知)	小杉花 (滋賀)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	岡崎遙海 (広島)	佐藤彩乃 (秋田)	山川理佳子 (東京)	深田真衣 (北海道)	後藤紗世 (栃木)	岩田祥子 (愛知)	片岡尚子 (滋賀)	樋口優子 (鹿児島)
5	鹿児島県	後藤紗世 (栃木)	片岡尚子 (滋賀)	坂口洋子 (佐賀)	樋口優子 (鹿児島)	河野清見 (香川)			
6	佐賀県	岡崎遙海 (広島)	佐々木廉 (秋田)	新田美蒼空 (埼玉)	深田真衣 (北海道)	末永 栄 (滋賀)	荒城祐佳 (富山)	井口花恋 (岐阜)	神田橋美貴 (鹿児島)

栄光の軌跡（スラローム・15ゲート・成年男子・K-1）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成25	東京都	矢澤一輝 (長野)	佐々木翼 (秋田)	吉田 拓 (京都)	安藤太郎 (東京)	金谷 徹 (和歌山)	市場大樹 (山口)	加藤哲平 (岐阜)	佐伯雄太郎 (富山)
26	長崎県	佐々木優 (秋田)	矢澤一輝 (長野)	二上 悠 (島根)	金谷 徹 (和歌山)	加藤哲平 (岐阜)	佐伯雄太郎 (富山)	藤野浩太 (長崎)	小島大地 (神奈川)
27	和歌山県	足立和也 (山口)	吉田 拓 (京都)	矢澤一輝 (長野)	佐々木翼 (秋田)	金谷 徹 (和歌山)	加藤哲平 (岐阜)	浅見明太 (東京)	小島大地 (神奈川)
28	岩手県	足立和也 (山口)	吉田 拓 (京都)	佐々木翼 (秋田)	佐伯雄太郎 (富山)	浅見明太 (東京)	加藤哲平 (岐阜)	山本 嶺 (千葉)	小島大地 (神奈川)
29	愛媛県	足立和也 (山口)	佐々木翼 (秋田)	浅見明太 (東京)	小島大地 (神奈川)	山本 嶺 (千葉)	田中雄己 (岐阜)	藤野浩太 (愛媛)	鳴原健司 (福島)
30	福井県	足立和也 (山口)	小島大地 (三重)	金谷 徹 (福井)	田中雄己 (岐阜)	山本 嶺 (千葉)	瀧口将矢 (東京)	齋藤康祐 (神奈川)	佐伯雄太郎 (富山)
令和元	茨城県	足立和也 (山口)	齋藤康祐 (神奈川)	吉田 拓 (京都)	山本 嶺 (千葉)	三島 遊 (東京)	鳴原健司 (福島)	金谷 徹 (福井)	佐伯雄太郎 (新潟)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	田中雄己 (岐阜)	齋藤康祐 (栃木)	瀧口将矢 (東京)	今川亮汰 (千葉)	山本 嶺 (滋賀)	北村光希 (高知)	矢澤一輝 (青森)	齋藤徹平 (神奈川)
5	鹿児島県	田中雄己 (岐阜)	三島 遊 (東京)	矢澤一輝 (青森)	山本 嶺 (滋賀)	今川亮汰 (千葉)	北村光希 (高知)	杉村康彦 (鳥取)	齋藤徹平 (神奈川)
6	佐賀県	禰寢大亮 (東京)	齋藤徹平 (神奈川)	瀧口将矢 (宮崎)	山本 嶺 (滋賀)	森田涼太 (三重)	矢澤一輝 (青森)	加藤哲平 (岐阜)	八橋 巧 (福岡)

栄光の軌跡（スラローム・15ゲート・成年男子・C-1）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成29	愛媛県	谷口和也 (徳島)	佐々木翼 (秋田)	加藤哲平 (岐阜)	池田拓也 (神奈川)	市場大樹 (山口)	塙原嘉之助 (富山)	奥田翔悟 (滋賀)	佐々木裕史 (北海道)
30	福井県	佐々木将汰 (秋田)	加藤哲平 (岐阜)	池田拓也 (神奈川)	高田和樹 (福井)	奥田翔悟 (滋賀)	高橋怜也 (山口)	佐々木裕史 (北海道)	塙原嘉之佑 (富山)
令和元	茨城県	谷口和也 (徳島)	齋藤彰太 (神奈川)	佐々木優 (秋田)	加藤哲平 (岐阜)	佐々木裕史 (北海道)	塙原嘉之佑 (富山)	宮川遼大 (鹿児島)	田中慈英 (京都)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	佐々木将汰 (秋田)	山本圭悟 (千葉)	加藤哲平 (岐阜)	佐々木優 (佐賀)	高橋怜也 (山口)	田中慈英 (京都)	松浦耕一 (徳島)	村上竣一 (栃木)
5	鹿児島県	山本圭悟 (千葉)	佐々木優 (佐賀)	加藤哲平 (岐阜)	高橋怜也 (山口)	宮川遼大 (鹿児島)	田中慈英 (京都)	佐伯雄太郎 (新潟)	松浦耕一 (徳島)
6	佐賀県	中嶋学人 (千葉)	齋藤彰太 (三重)	佐々木優 (佐賀)	佐々木将汰 (秋田)	高木信寿 (富山)	小田雅大 (北海道)	松浦耕一 (徳島)	田中慈英 (京都)

栄光の軌跡（ワイルドウォーター・スプリント・成年女子）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成25	東京都	畠 良枝 (岐阜)	福本かな子 (鳥取)	本田 圭 (新潟)	濱名としえ (東京)	西 夏樹 (長崎)	笹生裕子 (石川)	佐々木智美 (山口)	大瀬幸子 (和歌山)
26	長崎県	西 夏樹 (長崎)	福本かな子 (鳥取)	本田 圭 (新潟)	畠 良枝 (岐阜)	笹生裕子 (石川)	江田純子 (福岡)	佐竹 恵 (大分)	多喜田友香 (熊本)
27	和歌山県	福本かな子 (鳥取)	濱名としえ (東京)	本田 圭 (新潟)	笹生裕子 (石川)	野中直美 (静岡)	新井久美子 (埼玉)	佐竹 恵 (大分)	野間敦子 (京都)
28	岩手県	福本かな子 (鳥取)	濱名としえ (東京)	八木美優 (神奈川)	本田 圭 (新潟)	笹生裕子 (石川)	山田茉未 (岩手)	神田橋貴子 (鹿児島)	佐竹 恵 (大分)
29	愛媛県	福本かな子 (鳥取)	筒井美和 (高知)	山田茉未 (岩手)	濱名としえ (東京)	笹生裕子 (石川)	井戸奈津美 (岐阜)	保喜ちひろ (長崎)	寄町千鶴 (愛媛)
30	福井県	福本かな子 (鳥取)	江田純子 (福井)	井戸奈津美 (茨城)	笹生裕子 (石川)	山田茉未 (岩手)	保喜ちひろ (長崎)	面屋沙樹 (和歌山)	寄町梨紗 (愛媛)
令和元	茨城県	福本かな子 (鳥取)	井戸奈津美 (茨城)	山田茉未 (岩手)	笹生裕子 (石川)	濱名としえ (東京)	江田純子 (福岡)	池田百伽 (滋賀)	岡本あづみ (北海道)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	福本かな子 (鳥取)	濱名としえ (東京)	山田茉未 (岩手)	笹生裕子 (石川)	保喜ちひろ (長崎)	佐藤 笑 (北海道)	末永 葉 (岐阜)	岡崎凜子 (香川)
5	鹿児島県	田中香奈 (鹿児島)	山田茉未 (岩手)	福本かな子 (鳥取)	濱名としえ (東京)	江田純子 (福岡)	井戸奈津美 (岐阜)	笹生裕子 (石川)	末永 葉 (滋賀)
6	佐賀県	福本かな子 (鳥取)	永井茉未 (岩手)	田中香奈 (鹿児島)	濱名としえ (東京)	井戸奈津美 (岐阜)	笹生裕子 (石川)	池田百伽 (滋賀)	越智みのり (北海道)

栄光の軌跡（ワイルドウォーター・スプリント・成年男子）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成25	東京都	佐々木優 (秋田)	渡辺正浩 (岐阜)	佐川幸司 (山梨)	大瀬修平 (熊本)	國京健二 (福井)	山岡洋貴 (北海道)	荻野隆介 (神奈川)	久司 満 (石川)
26	長崎県	山根美千義 (岡山)	渡辺正浩 (岐阜)	佐川幸司 (山梨)	大瀬修平 (熊本)	荻野隆介 (神奈川)	山岡洋貴 (北海道)	小林大斗 (兵庫)	久司 満 (石川)
27	和歌山県	高橋怜也 (山口)	佐々木優 (秋田)	渡辺正浩 (岐阜)	大瀬修平 (熊本)	國京健二 (福井)	山岡洋貴 (北海道)	久司 満 (石川)	成瀬武志 (大分)
28	岩手県	佐々木優 (秋田)	山根美千義 (岡山)	渡辺正浩 (岐阜)	國京健二 (福井)	原 拓当 (東京)	久司 満 (石川)	高橋怜也 (山口)	荻野隆介 (神奈川)
29	愛媛県	山根美千義 (岡山)	渡辺正浩 (岐阜)	佐々木優 (秋田)	佐川幸司 (山梨)	久司 満 (石川)	山岡洋貴 (北海道)	大戸文吾 (和歌山)	坂元暢泰 (鹿児島)
30	福井県	渡辺正浩 (岐阜)	山根美千義 (岡山)	佐川幸司 (山梨)	佐々木優 (秋田)	國京健二 (福井)	久司 満 (石川)	大戸文吾 (和歌山)	山岡洋貴 (北海道)
令和元	茨城県	山根美千義 (岡山)	渡辺正浩 (岐阜)	平岩達樹 (茨城)	久司 満 (石川)	佐川幸司 (山梨)	大戸文吾 (和歌山)	齋藤晶文 (岩手)	森黒大 (香川)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	山根美千義 (岡山)	森田涼汰 (三重)	佐川幸司 (山梨)	山岡洋貴 (北海道)	奥田翔悟 (滋賀)	寺島峻一郎 (長崎)	川村龍紅 (栃木)	久司 満 (石川)
5	鹿児島県	鈴村侑也 (岐阜)	寺島峻一郎 (長崎)	平岩達樹 (神奈川)	奥田翔悟 (滋賀)	山根美千義 (岡山)	坂元暢泰 (鹿児島)	佐々木翼 (秋田)	久司 満 (石川)
6	佐賀県	鈴村侑也 (岐阜)	山根美千義 (岡山)	平岩達樹 (神奈川)	奥田翔悟 (滋賀)	寺島峻一郎 (長崎)	山岡洋貴 (北海道)	杉井太一 (愛媛)	久司 満 (石川)

栄光の軌跡（ワイルドウォーター・1500m・成年女子）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成25	東京都	笹生裕子 (石川)	佐々木智美 (山口)	本田 圭 (新潟)	畠 良枝 (岐阜)	福本かな子 (鳥取)	西 夏樹 (長崎)	濱名としえ (東京)	江田純子 (福岡)
26	長崎県	笹生裕子 (石川)	西 夏樹 (長崎)	本田 圭 (新潟)	福本かな子 (鳥取)	畠 良枝 (岐阜)	佐々木智美 (山口)	佐竹 恵 (大分)	江田純子 (福岡)
27	和歌山県	笹生裕子 (石川)	福本かな子 (鳥取)	西 夏樹 (長崎)	本田 圭 (新潟)	野中直美 (静岡)	濱名としえ (東京)	山田茉未 (岩手)	藤原ひかる (北海道)
28	岩手県	笹生裕子 (石川)	福本かな子 (鳥取)	石原夏海 (宮城)	井戸奈津美 (岐阜)	濱名としえ (東京)	山田茉未 (岩手)	八木美優 (神奈川)	藤原ひかる (北海道)
29	愛媛県	笹生裕子 (石川)	福本かな子 (鳥取)	井戸奈津美 (岐阜)	山田茉未 (岩手)	筒井美和 (高知)	濱名としえ (東京)	寄町梨紗 (愛媛)	永井千鶴 (京都)
30	福井県	笹生裕子 (石川)	福本かな子 (鳥取)	井戸奈津美 (茨城)	江田純子 (福井)	山田茉未 (岩手)	保喜ちひろ (長崎)	面屋沙樹 (和歌山)	寄町梨紗 (愛媛)
令和元	茨城県	笹生裕子 (石川)	井戸奈津美 (茨城)	福本かな子 (鳥取)	山田茉未 (岩手)	濱名としえ (東京)	江田純子 (福岡)	池田百伽 (滋賀)	井口愛梨 (岐阜)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	福本かな子 (鳥取)	笹生裕子 (石川)	濱名としえ (東京)	山田茉未 (岩手)	未永 葉 (岐阜)	保喜ちひろ (長崎)	池田百伽 (滋賀)	佐藤 笑 (北海道)
5	鹿児島県	笹生裕子 (石川)	福本かな子 (鳥取)	田中香奈 (鹿児島)	山田茉未 (岩手)	濱名としえ (東京)	未永 葉 (滋賀)	江田純子 (福岡)	井戸奈津美 (岐阜)
6	佐賀県	笹生裕子 (石川)	福本かな子 (鳥取)	永井茉未 (岩手)	濱名としえ (東京)	田中香奈 (鹿児島)	井戸奈津美 (岐阜)	池田百伽 (滋賀)	西久保直心 (佐賀)

栄光の軌跡（ワイルドウォーター・1500m・成年男子）

年	開催地	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
平成25	東京都	渡辺正浩 (岐阜)	國京健二 (福井)	荻野隆介 (神奈川)	久司 満 (石川)	大瀬修平 (熊本)	成瀬武志 (大分)	佐川幸司 (山梨)	高橋怜也 (山口)
26	長崎県	渡辺正浩 (岐阜)	久司 満 (石川)	山岡洋貴 (北海道)	佐川幸司 (山梨)	小林大斗 (兵庫)	大瀬修平 (熊本)	荻野隆介 (神奈川)	高橋怜也 (山口)
27	和歌山県	渡辺正浩 (岐阜)	高橋怜也 (山口)	國京健二 (福井)	大戸文吾 (和歌山)	依田伸一朗 (岡山)	大瀬修平 (熊本)	山岡洋貴 (北海道)	佐川幸司 (山梨)
28	岩手県	高橋怜也 (山口)	山根美千義 (岡山)	渡辺正浩 (岐阜)	齊藤晶文 (岩手)	大戸文吾 (和歌山)	國京健二 (福井)	久司 満 (石川)	山岡洋貴 (北海道)
29	愛媛県	久司 満 (石川)	山岡洋貴 (北海道)	渡辺正浩 (岐阜)	山根美千義 (岡山)	大戸文吾 (和歌山)	佐川幸二 (山梨)	佐々木優 (秋田)	坂元暢泰 (鹿児島)
30	福井県	山根美千義 (岡山)	渡辺正浩 (岐阜)	國京健二 (福井)	大戸文吾 (和歌山)	久司 満 (石川)	山岡洋貴 (北海道)	佐川幸司 (山梨)	佐々木優 (秋田)
令和元	茨城県	平岩達樹 (茨城)	山根美千義 (岡山)	大戸文吾 (和歌山)	久司 満 (石川)	斎藤晶文 (岩手)	渡辺正浩 (岐阜)	山岡洋貴 (北海道)	佐川幸司 (山梨)
2	鹿児島県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
3	三重県 (中止)	-	-	-	-	-	-	-	-
4	栃木県	山根美千義 (岡山)	齊藤晶文 (岩手)	森田涼汰 (三重)	奥田翔悟 (滋賀)	久司 満 (石川)	佐川幸司 (山梨)	寺島峻一郎 (長崎)	川村龍紅 (栃木)
5	鹿児島県	平岩達樹 (神奈川)	鈴村侑也 (岐阜)	寺島峻一郎 (長崎)	奥田翔悟 (滋賀)	山根美千義 (岡山)	久司 満 (石川)	坂元暢泰 (鹿児島)	杉井太一 (愛媛)
6	佐賀県	奥田翔悟 (滋賀)	鈴村侑也 (岐阜)	平岩達樹 (神奈川)	山根美千義 (岡山)	久司 満 (石川)	寺島峻一郎 (長崎)	斎藤晶文 (岩手)	山岡洋貴 (北海道)

●平成24年以前の「栄光の軌跡」は、下記をご覧ください。

スラローム 男子
K-1・C-1 15ゲート・25ゲート



スラローム 女子
K-1・C-1 15ゲート・25ゲート



ワイルドウォーター 男子



ワイルドウォーター 女子



競技会場案内図



◆会場へのアクセス

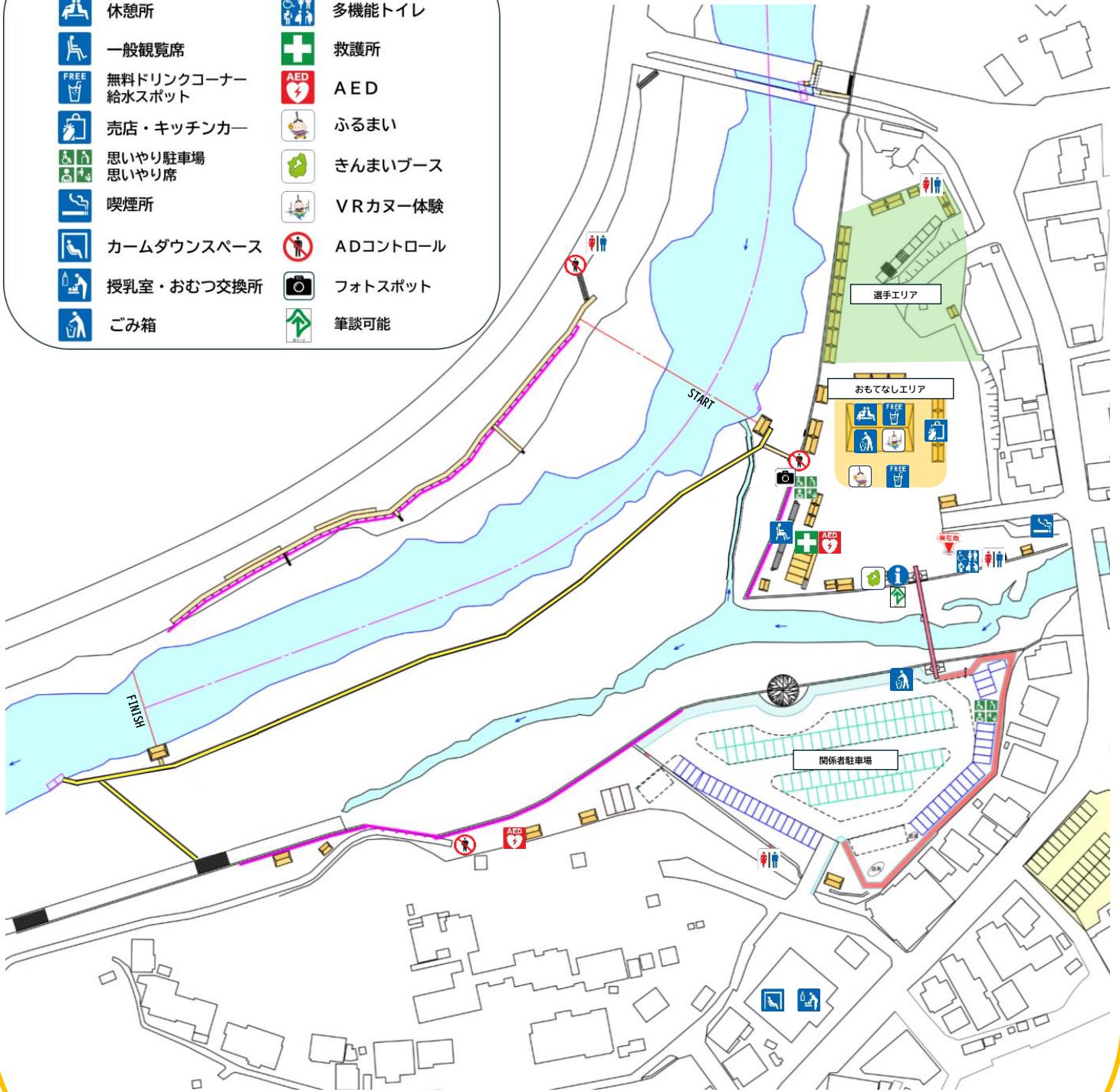
電車・バス

JR 琵琶湖線<石山駅> からバスで約 25 分 (バス停：大石小学校)、徒歩約 5 分

第79回国民スポーツ大会 カヌー競技会

スラローム・ワイルドウォーター

瀬田川特設カヌー競技場



関係機関連絡先一覧

◆わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
大会総務課	大津市石場10番53号	077-528-2919

◆会場

名称	所在地	電話番号
瀬田川特設カヌー競技場	滋賀県大津市大石東六丁目1	-

◆警察・消防署等

名称	所在地	電話番号
大津警察署	大津市打出浜12番7号	077-522-1234
大津市消防局	大津市御陵町3番1号	077-522-0119
大津市消防局 南消防署	大津市光が丘町5番7号	077-533-0119
大津市保健所	大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津1階	077-522-6756

◆医療

分類	名称	アクセス方法	二次元コード
近隣医療機関	医療情報ネット（ナビイ）	右記二次元コードまたは、 「医療情報ネット（ナビイ）」で検索	

◆タクシー事業者（※）

名称	所在地	電話番号
大津第一交通株式会社	大津市柳が崎5番8号	0120-524-447 077-524-4000
滋賀ヤサカ自動車株式会社	大津市湖城が丘6番11号	077-522-6767
琵琶湖タクシー株式会社	大津市におの浜四丁目6番28号	077-522-6677
有限会社共立タクシー	大津市比叡辻二丁目4番31号	077-579-2278
有限会社湖西交通	大津市坂本七丁目33番6号	077-577-1760

※一般社団法人滋賀県タクシー協会会員事業者で、本社所在地が大津市内にある事業者

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会（滋賀県）へのお問合せ

コールセンター：0120-550-882

開設期間：9月1日（月）～10月31日（金）まで（9:00～18:00）



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



Otsuka

大塚製薬

MIZUNO

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。
指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



『スポハラ』根絶に向けた取組み



NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど) に、

みんなが『NO !』と言う社会を目指して



スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



どなたでもご利用可能!

お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



『スポハラ』根絶に向けた取組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

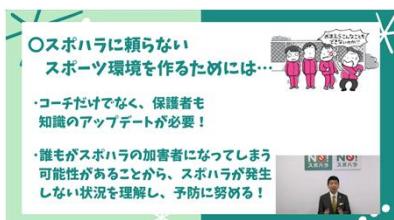


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

＜スポーツ現場におけるハラスメント防止動画＞



＜「スポハラ」に関する情報発信動画＞



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

＜令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）＞



「NO! スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

＜過去開催した研修会等の動画公開＞



＜ポスター・ロゴ等広報ツール＞



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

国スポ会場で

1日たっぷり楽しもう！

国スポは、競技観戦だけじゃない！

大津市の国スポ会場には、“来場して楽しめる”コンテンツをたくさん用意しています。

子どもも一緒に楽しむ！



「OTSU DREAM IT CONTENTS」

大津市で開催するすべての競技会場で、子どもたちの思い出に残る企画を実施！！

「競技紹介」

はじめてでもわかる！！競技の見どころ解説

https://otsu-kokuspo2025.jp/kids_page

きんまいブース（PRブース）

ガイドブックやクーポンを配布！

さらにアンケートに答えると、豪華な
賞品が当たるかも！？



滋賀県内最多 12競技を巡るデジタル
スタンプラリーも！

手づくり のぼり旗

全国から参加する選手のために、
市内の子どもたちが心を込めて製作。
メッセージやイラストは必見！



ふるまいコーナー

大津の銘菓などが無料でもらえる！

ふるまい品のラインナップは要チェック！

※時間・数量限定

“滋賀らしい取組み” 「給水スポット」

水分補給で、暑さをしのごう！

※マイボトル持参にご協力ください

ほかにも、見どころがたくさん！

- ・売店やキッチンカー
- ・花いっぱい運動 などなど…

※会場ごとで、設置の有無が異なります

まちの歓迎装飾

市内を走る京阪電車や駅などを彩り、
大津を訪れる人たちを歓迎！
いくつ見つけられる？

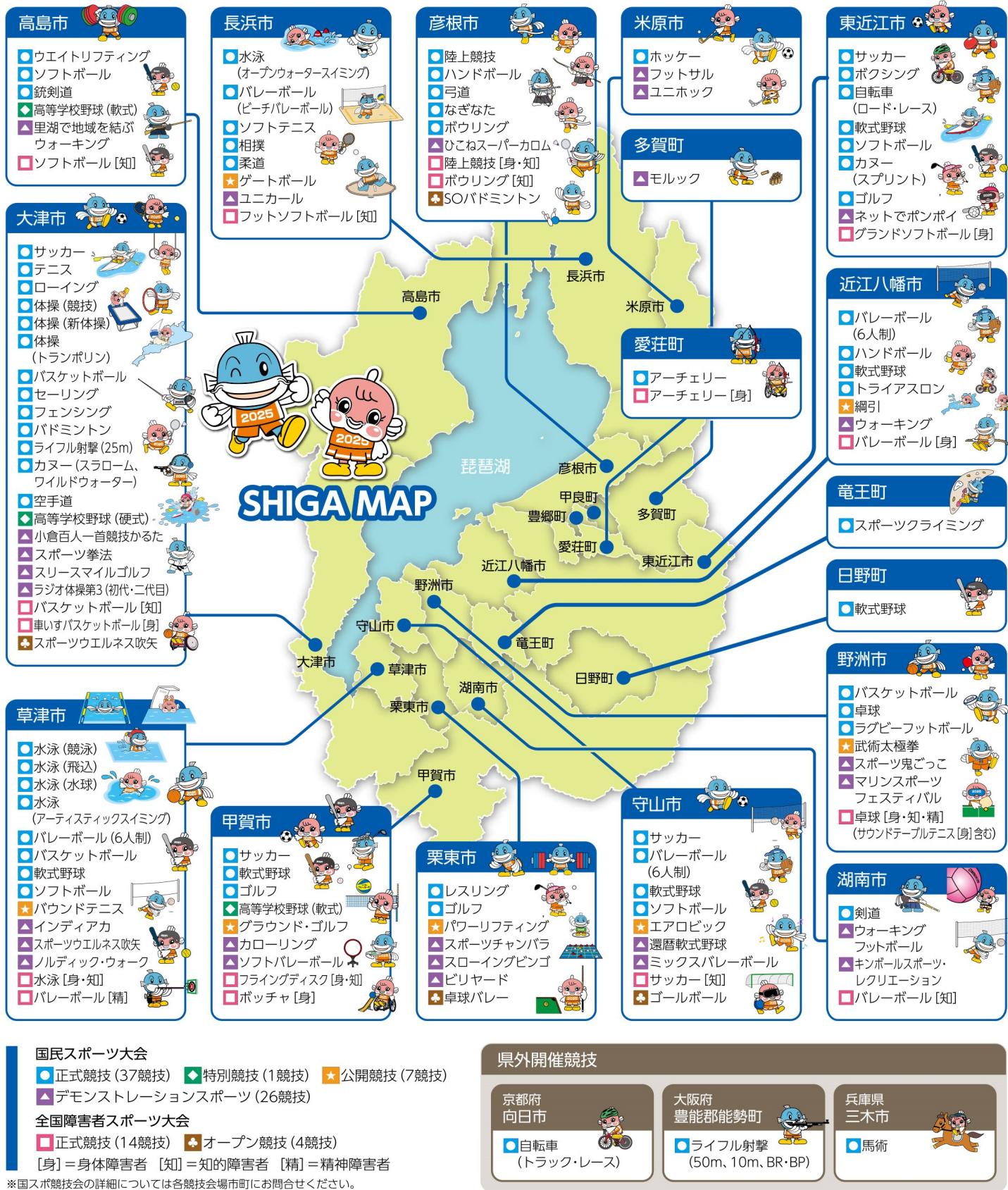


大津市観光キャラクター
おおつ光ルくん

MEMO

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

国スポ実施期間

令和7年 9月28日(日)～10月8日(水) [11日間開催]

国スポ会期前実施競技

令和7年9月6日(土)～9月15日(月)、令和7年9月21日(日)～9月25日(木)

障スポ実施期間

令和7年10月25日(土)～10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから! 滋賀2025

検索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会PR
動画を公開!

さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。

Instagram



X



大会HP



●用 紙・責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙

●インキ: 植物油インキを使用

湖国の感動 未来へつなぐ

第79回国民スポーツ大会

わたSHIGA輝く国スポ

2025

来年は、青森県で第80回国民スポーツ大会が開催されます。
また、青森県西目屋村でお会いしましょう。



白神山地マスコットキャラクター
「ブナッキー」

大津市観光キャラクター
「おおつ光るくん」

競技記録結果

開設期間

2025年9月1日（月）～12月26日（金）

▼PC・スマホ

<https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html> →



▼フィーチャーフォン（ガラケー）

← <http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>

国スポチャンネル

国スポ競技の動画配信を行っています。

※競技によって配信スケジュールが異なります。

▼ホームページ

<https://japangamestv.japan-sports.or.jp/>



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会SNSはこちらをチェック！

大津市実行委員会HP：<http://otsu-kokuspo2025.jp/>

X



Instagram



Facebook



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局

滋賀県大津市石場10番53号 TEL：077-528-2919（大会総務課）